年報
２０２０

vol.18

～人と自然と文化の調和した丹波の森づくりをめざして～

（公財）兵庫丹波の森協会

県立丹波の森公苑
県立丹波年輪の里
県立ささやまの森公園
県立丹波並木道中央公園

CONTENTS

もくじ

森トピックス P1

活動方針 P2

事業報告 P5

兵庫丹波の森協会事務局
丹波の森公苑 P34
講座一覧 P35
出前講座の状況 P42
活動一覧 P43
施設利用一覧 P47
評議員会・理事会・運営委員会の開催状況及び委員等名簿 P49
機能 P54
沿革 P59
施設の概要 P61
組織と職員 P63

丹波年輪の里 P65
活動一覧 P66
施設利用一覧 P68
運営協議会委員及び関係者名簿 P69
沿革 P70
施設の概要 P72
組織と職員 P73

ささやまの森公園 P74
活動・施設利用一覧 P75
運営協議会の開催状況及び委員名簿 P79
機能 P81
沿革 P82
施設の概要 P84
組織と職員 P85

丹波並木道中央公園 P86
活動一覧 P87
施設利用一覧 P90
森の円卓会議の開催状況及び委員名簿 P94
施設の概要・沿革 P96
組織と職員 P97

利用案内
利用案内 P99

森トピックス

１．たんば絵手紙コンクール全国から多数応募　・・・P10
丹波年輪の里

２．新プログラムを展開　・・・P18～19
みつろうを作ろう、親子で楽しむ紙工作
ささやまの森公園

３．丹波ＯＢ大学創立５０周年記念事業を開催　・・・P25
丹波の森公苑

４．丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば　・・・P28
２５年にわたる音楽祭の映像を YouTube で配信
丹波の森公苑

５．丹波の森公苑入苑者６００万人達成　・・・P31
丹波の森公苑

６．開園以来の入園者が１５０万人を突破　・・・P32
丹波並木道中央公園

活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和６３年（1988）に設立（平成２年（1990）に法人化、平成２４年（2012）に公益財団法人へ移行）され、丹波の自然と文化を住民共有の財産として、住民主体で維持発展する責務を定めた「丹波の森宣言」（昭和６３年９月１日）に基づき、人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援に取り組んできた。

平成３０年度には、「丹波の森宣言」から３０周年を迎え、これまでの取組の総括を行い、３０年という内外情勢の変化や地域環境の変化を踏まえる中で、改めて「丹波の森宣言」に込められた地域づくりの理念の重要性を確認するとともに、「丹波の森づくりのこれから」として新たな取組の方向性を示す「丹波の森づくり３０周年記念誌」を発行した。

2015 年９月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」ＳＤＧｓの目標は、「丹波の森宣言」にも呼応しており、丹波地域の持続可能な発展に向け、住む人、行き交う人が自然や文化を大切にし、安らぎと活力に満ち、生き生きと光り輝く地域づくりを推進していく。

これまでの丹波の森づくり活動の実践により、国の重要伝統的建造物群保存地区「篠山」、「福住」の選定、丹波国人衆として勇猛果敢に明智光秀に対峙した「黒井城」、「八上城」の国指定史跡指定、限界集落からの再生を果たした「集落丸山」、「Ｈ２６丹波豪雨災害」から見事に復興を遂げた丹波市の被災地の姿など丹波の森づくりは、着実に実を結びつつある。また、恐竜・哺乳類化石を活かした丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの推進や本州で一番低い中央分水界（分水嶺）をまちの宝とする氷上回廊水分れフィールドミュージアムの拠点施設整備が始められるなど広域連携を意識した取組も着実に進んでいる。

こうした取組を着実に未来に繋ぐため、森の自然や文化と調和した地域生活情報の発信、生物多様性を重視した環境学習の推進、里山の価値を見直し、丹波産材の活用を促す木育の推進など様々な分野の学習、交流、地域づくり事業等を推進、支援する。

芸術文化においては、丹波地域の秋の風物詩となっている「丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば」を引き続き開催するとともに、丹波文化団体協議会等の活動を支援することにより、地域の芸術文化活動の活性化と発展を推進していく。

丹波の森研究所では、「小規模集落の活性化に向けた地域づくり」及び「生物多様性保全に向けた丹波の森の環境づくり」を重要研究テーマとして位置づけ、大学や地域、行政機関と連携し、研究・調査に取り組むとともに、様々な市民活動を支援するシンクタンクとしての役割を果たしていく。

また、当協会が指定管理を担っている「県立丹波の森公苑」、「県立丹波年輪の里」、「県立ささやまの森公園」及び「県立丹波並木道中央公園」では、丹波の森宣言の実践施設として、施設間の連携を強化し、里山文化の魅力発信、芸術文化の振興に向けた取組の充実を図る。

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業)】

１　森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

⑴ 魅力ある地域づくりの推進

⑵ 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進

⑶ 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

２　生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

３　芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切にする心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造するための拠点施設として、丹波らしさを活かした地域づくりを推進する。

１　丹波の森公苑の里山を活用し、里山林の整備や自然体験学習の場を提供することにより森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進し、人と自然が共生する丹波の森づくりを進める。また、昨年度に引き続き”シンボルの森”として里山を楽しめる施設となるよう、里山遊歩道への案内板等の整備を行う。

２　豊かなライフスタイルを創造するための県民の主体的な活動を支援するため、丹波地域の団体・グループ等の活動情報を収集・発信するとともに施設利用団体への活動支援を充実させる。また生涯学習の一環として高齢者に学習と交流の機会を提供し、永年培ってきた知識や経験をより磨き、地域づくりの実践者を養成する。本年度は、丹波ＯＢ大学が創立５０周年を迎えるため、記念式典を開催するとともに各講座・研修等の内容の充実を図り、シニア世代の豊かな学びと社会参加を支援する。

３　音楽・演劇等の優れた芸術に触れる機会と創作活動の発表の場を提供するとともに個性豊かな地域文化を育てる。昨年に続き「丹波における伝統文化体験フェスティバル」を開催する丹波文化団体協議会等の活動を支援するなど、地域の芸術文化活動の活性化と発展を推進する。また、丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばを引き続き開催し、県内外からのクラシックファンなどの誘客をさらに推進する。

また、築２５年を迎える丹波の森公苑ホールは、天井耐震化工事等計画的な改修工事を行う。

・「県立丹波年輪の里」では、地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えると共に、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。

　特別木工教室においては、初心者向けの教室から本格的な木工教室まで、幅広い実習内容を工夫すると共に、団体及び個人利用者向けには、木工キットメニューの見直しを随時行う。

林産指導事業においては、県農政環境部林務課及び県木材業協同組合連合会と連携し、木材研修会や木育キャラバンの充実を図る。

・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

　さらに、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社明石工場の森づくり活動の取組に協力する。この取組を通して、広葉樹を中心とした樹林の維持造成を推し進め、水源地として魅力ある里山づくりに努める。

・「県立丹波並木道中央公園」では、指定管理期間が満了する５年目を迎え、４年間の総括を行うとともに、残すべき田舎の田園景観を都市公園に取り入れた棚田、茅葺き民家、灰屋（はんや）、そして、手入れされた里山とそれを活かす製材所といった当公園の特徴をしっかりと意識し、自然の恵みを考え、知る体験プログラムの充実を図り、兵庫丹波の森協会と兵庫県園芸・公園協会が連携し、次期指定管理の選定を目指す。

　当協会が指定管理を行う意義は、「丹波の森宣言」の実践と周知であり、このことをしっかり踏まえて、森とともに生きてきた丹波の人々の営みを体感できる公園を基本コンセプトとし、内外に広くアピールする。

　また、人工林と製材所をもつ公園の特性を生かし、幼児用の木製手作り遊具の更新や積み木などの木製おもちゃのリニューアルを行い親子連れの来園者に対する木育推進活動を展開する。さらには、棚田を活用した赤米や黒大豆、ジャガイモやサツマイモづくりを通して都市住民との交流を進め、丹波の森の魅力を内外に発信する。

【丹波の森構想】

丹波の森づくりの基本理念

①　自然と共に生きる地域社会の実現

　人間も自然界の一員であることを認識して、自然と共に生きる地域社会の実現をめざします。

②　潤いと安らぎのある地域社会の実現

　素晴しいふるさと景観をかけがいのない共有財産とする共通認識にたって、環境や景観の保全と創造を図り、潤いと安らぎのある豊かな地域社会の実現をめざします。

③　活力のある開かれた地域社会の実現

　地域風土を生かし、文化の十字路として、新しい地域文化を創造し活力のある開かれた地域社会の実現をめざします。

事業報告

令和２年度に実施した（公財）兵庫丹波の森協会の主要な事業・取り組み

公１　森林文化（地域づくり）の創造

（１）魅力ある地域づくりの推進
- 丹波の森大学の開設
- ウィーンの森親善訪問事業
- 丹波の森研究所
- 地域づくり支援事業
- 花づくり活動支援事業
- 丹波の森フェスティバルの開催
- 丹波の森収穫祭（なみきみちまつり）の開催【丹波並木道中央公園】※中止
- 丹波年輪の里事業【丹波年輪の里】
- 丹波並木道中央公園事業【丹波並木道中央公園】

（２）生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進
- 丹波の森公苑里山事業
- 丹波地域生物多様性保全事業
- ささやまの森公園事業【ささやまの森公園】

（３）生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進
- 丹波の森公苑環境学習推進事業

公２　生活創造活動への支援

（１）地域・団体活動の支援
- 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
- 生活創造活動施設貸し館業務
- スポーツ大会・文化教室の開催【丹波年輪の里】

（２）生涯学習の場の提供
- 兵庫県地域高齢者大学４年制大学講座（丹波ＯＢ大学）の開設
- 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波ＯＢ大学大学院）の開設
- 兵庫県地域高齢者大学４年生大学講座（丹波ＯＢ大学）創立５０周年記念事業
- 講座「丹波学」の開設
- 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催

（３）明日を担う丹波っ子の育成
- トライやる・ウィーク等の受入※中止
- 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りべクラブの活動支援

公３　芸術文化の振興

（１）舞台芸術鑑賞機会の提供
- 丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばの開催
- 丹波の森公苑ホール等自主事業

（２）芸術文化活動の振興
- アートクラフトフェスティバル in たんばの開催【丹波年輪の里】※中止
- 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催【丹波年輪の里】※中止
- 丹波の森アート作品展の開催
- 展示ギャラリ—の開設
- 伝統文化活性化支援事業
- 座っ展—丹波で坐る木の椅子—の開催【丹波年輪の里】※中止
- 音楽活動団体等への支援

公共　丹波地域情報の発信等

（１）丹波地域情報の発信等
- 年報の発行、ホームページ等による情報発信

他１　芸術文化団体等活動支援事業

（１）芸術文化団体等活動支援
- 芸術文化団体等への活動支援

※【　　】書きは実施している施設名を記載。記載がないものは丹波の森公苑で実施。

丹波の森大学の開設

◇実施内容

学習の基本テーマを「森と出会う、森に集う」とし、丹波の森で育まれてきた豊かな生態系と生活文化を再認識し、人と人、人と自然が集い、より深く語り合い支え合うことの楽しさと新たな方法を様々な視点から学ぶ講座を開催しました。現地学習は、文化・芸術による地域創生の戦略拠点として国内外から注目されている城崎国際アートセンターを訪問し、センターの役割と観光まちづくりの取り組みを聞きました。

講義

開催期間：６月２０日（土）～令和３年１月１６日（土）
講義６回と現地学習１回
※コロナウイルス感染症拡大防止、講師の都合で全９回の内２回中止
令和３年１月２３日（土）に閉講式、みどりの学術賞受賞中瀬勲記念講演会を開催

場　　所：丹波の森公苑多目的ルーム、丹波篠山市民センター

受 講 者：３３人（延べ１９９人）

（詳細は P35 講座一覧表に掲載）

◇成果（自己評価等）

コロナ禍で改めて地域の中で人と人が関わり支え合うことの重要性を認識し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう考え直すきっかけになりました。当大学では、新しい時代の中で、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そして、それを支える「もりびと」づくりのためのより深い学習と実践の場として、多彩な講師陣による講義と現地学習をまじえた講座を展開することができました。

ウィーンの森親善訪問事業

◇実施内容

兵庫丹波の森協会とウィーンの森があるオーストリア・ウィーン市とは、平成５年（1993 年）に友好親善協定を結び、交流を続けています。

平成３１年２月に交流のシンボルとして国蝶オオムラサキの幼虫６０頭を贈りました。同年７月にウィーン１３区の国立シェーンブルン動物園で羽化し、初めて産卵しました。その後も幼虫約２００頭が孵化し、同園では日本オーストリア修好１５０周年を記念してオオムラサキ専用展示ケースが設置され、羽化した日本のオオムラサキがウィーン市民に公開されました。同動物園とは連絡を密に取り合いながら支援しています。

国立シェーンブルン動物園

◇成果（自己評価等）

７月１日～８日の期間で訪問を予定していた「第２３回ウィーンの森親善訪問とオーストリア・ドイツ周遊の旅」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。

国立シェーンブルン動物園では、今年度はオオムラサキの孵化が確認されず、今後の事業展開が課題ですが、飼育環境の助言と情報交換を行いながら支援していきます。

丹波の森研究所の活動

◇実施内容

丹波の森研究所の調査研究

丹波の森研究所では、令和元年度より、「丹波の森宣言３０周年記念シンポジウム」で提案された課題を受け、「丹波の森づくりの推進にあたり地域課題解決に向けた調査研究」を実施しています。

①地域環境の魅力性の抽出と実態調査

関心の高い地域環境はどんなものか、それはどのように継承されているか、また、地域資源をどのように魅力化するか等について地域住民と UIJ ターン者を交えたワークショップを開催しました。

②地域再生での人的ポテンシャルの活用方策の検討

UIJ ターン者の方々がどのような理由、きっかけで来られ、どのように暮らし、地域との関係をどのように構築しているか等をアンケートおよびヒアリングにより調査しました。

③地域再生プロジェクトチーム会議

本会議は、丹波県民局、両市のまちづくり担当者及び丹波の森研究所で構成され、「集落再生」をテーマに丹波の森研究所と連携した会議とし事業実施に向けた意見交換を行いました。

地域づくり支援事業

①地域づくりアドバイザー派遣事業

活力と魅力ある丹波の森（地域）づくり推進に向けて、地域のまちづくり活動団体のほか、行政や大学等と連携しながら地域づくり活動を支援しました。

・アドバイザー派遣（丹波市山南町上久下地区）

日本の伝統建築「工匠の技」をはじめとする伝統技術や行事がユネスコ無形文化遺産に登録決定されたことを契機に、山南町上久下地区の檜皮葺の建造物や職人にスポットを当てた地域資源マップづくりの支援にアドバイザーを派遣しました。

受託事業

①フィールドミュージアム推進総合プロデューサー

（丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会委託事業）

主な事業は、県下の県立公園などの６施設に出向き実施した「出張化石発掘体験会」、またスマートホンを利用した非接触型の「たんば恐竜街道スタンプラリー」を実施しました。また、「恐竜化石オンライン講座」は実施テストを行いました。

いずれの事業もコロナ禍の中でのイベント実施について、その対応策の企画、調整などのプロデュース業務を行いました。

②丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援

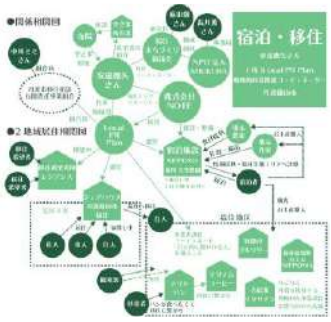
（丹波の里山づくり促進事業実行委員会）

事業は２グループに分かれ、採択された年度が１年ずれていることから、支援内容が異なっています。当初６団体が採択され、次いで４団体が採択され、計１０団体にアドバイザーを派遣し、里山づくり計画策定、実際の活動を通した計画の見直し、また、各団体の里山づくり活動推進のためのワークショップ開催などの支援を行っています。

通常のアドバイザー会議に加え、１０地区の活動団体の代表に声掛けし、拡大里山づくりアドバイザー会議を開催し、意見交換を行いました。

③丹波地域の移住および二地域居住等現状分析事業

本事業は、兵庫県地域創生局からの委託事業で、丹波地域での移住および二地域居住の現状について調査分析を行ったものです。調査では、移住や二地域居住について、そのきっかけとなっている１７の個人・団体にヒアリングを行い、キーマンを中心に関係する人・施設・活動等についてその内容及び関係性を見える化した相関図を作成し、今後の政策策定の基礎データとして整理しました。



④戦略的移住推進モデル事業

本事業は、兵庫県の地域再生大作戦のひとつで、３年間継続の補助事業です。地元まちづくり協議会で移住コーディネーターを雇用し、戦略的に移住推進を行い、令和２～４年度の３か年の計画と各年次の活動計画を策定することが必要です。丹波の森研究所では、全体計画づくりや、計画策定に係わるワークショップの開催などの支援を行いました。

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業
出張化石発掘体験会 2020

◇実施内容

県立人と自然の博物館が認定した化石専門指導員を活用し、これまで丹波地域内で開催してきた化石発掘体験会を阪神間等の施設で実施しました。

（県立一庫公園）
開催日：８月３０日（日）
参加者：４０人（４回）
開催日：１１月１５日（日）
参加者：４０人（４回）
（県立尼崎の森中央緑地）
開催日：１０月１８日（日）
参加者：４０人（４回）
（県立舞子公園）
開催日：１１月８日（日）
参加者：３５人（４回）
（淡路島国営明石海峡公園）
開催日：１２月５日（土）
参加者：５６人（４回）

県立一庫公園で実施

淡路島国営明石海峡公園で実施

◇成果（自己評価等）

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムエリア外で化石発掘体験会を行うことにより、県内外から来られた参加者に恐竜化石等の化石発見地である丹波地域を広く周知し、興味を持って頂くことができました。

シンボルの森整備事業

◇実施内容

森をまるごと里山ミュージアムにするため、丹波の森づくりの中核施設「シンボルの森」（丹波の森公苑）で誰もが気軽に四季の彩りを楽しむことができる里山づくりの広域モデルとして、散策道への番号標柱の設置を行いました。

散策道への番号標柱

◇成果（自己評価等）

丹波の森公苑散策道への番号標柱の設置を２４か所行いました。トレッキング等登山者が自分の位置を明確に把握することができるようになりました。

今後も順次整備し、里山を楽しめる施設とすることで、丹波の森の魅力を地域内外に発信していきます。

花づくり活動支援事業

◇実施内容

美しい丹波づくりを推進するため、花、緑、園芸に関する知識の習得並びに地域での普及活動のリーダーを育成する教室を開催しました。

（花と緑の教室）

開催日：７、９、１１、１２、３月の年５回
受講者：午前・午後の部　計４３人

（花と緑の教室　自主活動グループ）

開催日：７、９、１１、１２、３月の年５回
受講者：３グループ・８人

（園芸教室）

開催日：６、７、１０、１２、３月の年５回
受講者：２５人

※各教室ともに、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため全６回の内１回中止
（詳細は P35 講座一覧表に掲載）

花と緑の教室

◇成果（自己評価等）

丹波地域住民を中心に、花づくりを通じた交流が深まりました。また、平成３０年度からは、過去の受講生をリーダーとし、花の魅力を伝える「自主活動グループ制度」を創設したことにより、地域における普及活動に弾みがついています。

２０２０丹波の森フェスティバル開催

◇実施内容

丹波の森公苑では、真の豊かさの実現をめざす生活創造活動を通じて丹波の森づくりが幅広く展開されるよう住民主役の活動と交流を図る様々な事業を進めており、活動成果の発表や交流の場として、２０２０丹波の森フェスティバルを開催しました。

開催日：１０月２５日（日）
ワークショップ等：１１ブース
活動団体の作品展示等：１１団体
特設ステージ：６団体
来場者：９００人

※例年同時開催の丹波ＧＯＧＯフェスタ、丹波市産業交流市は中止

中庭芝生広場

◇成果（自己評価等）

「森とふれあおう！まるごと満喫☆丹波の森公苑」をテーマに里山体験、屋外ワークショップを中心に、感染症対策を行い、規模を縮小して開催しました。

秋の好天のもと、約９００人の来苑者があり、子どもから大人までゆっくりと丹波の森公苑を満喫していただくことができました。

ツリーイング

丹波年輪の里事業【丹波年輪の里】

① 特別工作教室

◇実施内容

糸鋸教室やスプーンなどを始めとする木工の基本工作を体験できる手軽な内容を多く企画しました。専門性の高い内容では、前年に引き続き、仕込み塾を６か月にわたり長期開催し、また、体験することのできない手道具に関する多くの内容を盛り込んだ教室を開催しました。

【開催した各種教室】

・木彫り教室（自由・課題）Ⅰ	月２回	２３１人
・木彫り教室（自由・課題）Ⅱ	月２回	２３１人
・刃研ぎ塾	５回	５０人
・木工基礎講座　第１９期		４９人
第２０期		６２人
・木工講座（中級）第９期		４８人
・大工道具仕込み塾	１２回	８５人
・木工クラブ	２２回	１８２人
・ＧＵＧＵ木工教室（栗の丸盆）	３回	３３人
・ＧＵＧＵ木工教室（木杓子Ⅰ.Ⅱ.Ⅲ.Ⅳ）	１２回	７８人
・ウッドライフ教室（スマホスタンド）	４回	１２人
・ウッドライフ教室（オーバルシリーズ）	９回	７２人
・ウッドライフ教室（カップホルダー）	２回	１０人
・木工教室（私が作るマイスプーン）	４回	３３人
・木工教室（私が作る万華鏡）	１回	８人
・木彫サークル工作指導	９回	９２人
・夏休み親子工作教室	２回	１６人
・ＧＷ親子教室（中止） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため		
・糸のこ教室	３回	１５人
・クリスマスリースづくり	１回	２２人

糸鋸工作教室（５月人形）

◇成果（自己評価等）

木工技術の習得にこられる方が多くなりました。特に木工講座や教室には、多くの希望者があり、好評を得ています。

② 第４回　たんば絵てがみコンクール

◇実施内容

第４回のテーマは「愛」。家族や友人、親しい人の顔を思い浮かべながら、暮らしのひとコマ、風景、身近にあるものを描いた「絵てがみ」を募集し、展示しました。

募集期間：９月１日(火)～１２月２７日(日)
応募者数：４４２人
応募総数：５７０点
展示期間：令和３年２月６日（土）～２１日（日）
場　　所：丹波年輪の里木の館
入 場 者：７４７人（休館日を除く１４日間）
巡 回 展：兵庫県中央労働センター
（令和３年２月２５日(金)～３月１２日(金)）

金賞「今　思うこと」

◇成果（自己評価等）

北海道から沖縄まで全国各地の子供や大人から多数の応募があり、過去最高の出展数となりました。また、来場者からは多数の心温まる絵手紙作品に好評のお声をいただきました。

③ 幼児対象のワークショップなど木材研修会の開催

◇実施内容

〇開催日：９月８日（火）
　場　所：誠心学園保育園（宍粟市）
　テーマ：「木製玩具製作ワークショップ
　　（メッセージボード）製作」
　参加者：５歳児　１９人
〇開催日：１０月１０日（土）
　場　所：一宮こども園（宍粟市）
　テーマ：木製玩具製作ワークショップ（写真立て）
　　製作」
　参加者：園児・保護者　２６人
〇開催日：１０月２０日（火）
　場　所：猪名川町立六瀬幼稚園
　テーマ：木製玩具製作ワークショップ（キーフッ
　　ク）製作」
　参加者：園児　１８人
〇開催日：１０月２９日（木）
　場　所：くりのみ保育園（宍粟市）
　テーマ：木製玩具製作ワークショップ（竹の楽器）
　　製作」
　参加者：園児　２０人
〇開催日：令和３年１月２３日（土）
　場　所：丹波年輪の里
　テーマ：「木・風・音　木の心地よさを感じる研修
　　会」パート６
　参加者：１７人

木材研修会の様子

◇成果（自己評価等）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため研修会や木育キャラバンの開催は難しい状況でしたが、宍粟市地域創生課の依頼でワークショップを開催しました。

木の香り、手触りを製作の中で感じ取るとともに、道具を扱う際の緊張感や集中することの大切さも、子どもたちの取り組む姿から感じ取ることができました。

④ 特別工作教室（ウッドライフ教室・オーバルボックスシリーズ）

◇実施内容

スチームベンディングという木材を曲げて加工する技術を応用し、オーバルボックスという曲げ木の物入れを作る教室をバスケット、キャリー（手提げ付き）、ボックス（蓋付き）の三種類の内容で教室を企画しました。

曲げ木加工に加えて、熱したコテの先端で焼きながら文字や模様を描くバーニングアートにも取り組みました。

開催日：10・11・12 月の日曜日に各３日ずつ開催
場　所：丹波年輪の里
参加者：８人

オーバルボックス、曲げ木加工の様子

◇成果

切る、刻む、削るが主体となる木工の中に、「曲げる」という技法を提案しました。
木の塊から容積のある器や入れ物を作るにはかなりの労力を要しますが、木の薄板を曲げて箱にすると、少ない材料と手間で容積のある入れ物を作る事ができます。それには、曲げに適した材料、曲げに必要な条件があります。普段なかなか体験する機会が少ない曲げ木の技法を通し、木を曲げる時の力加減、工程など教室を通じて、木工技法の多様性と可能性を知っていただくことができました。

丹波並木道中央公園の企画運営【丹波並木道中央公園】

① 地産地消・丹波の食をまるごと楽しむプロジェクト

◇実施内容

公園内の棚田では赤米、公園周辺では丹波篠山茶、大山スイカ、丹波ブランドの黒豆などの食資源が多く存在します。その味覚を公園で味わい、または作るところから楽しめる「地産地消」型の公園×食プログラムを展開しました。

〇棚田で赤米の栽培と収穫体験

５月田植え（中止）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

９月かかし立て・草引き　　参加者：４９人

１０月収穫体験　　参加者：４９人

１２月しめ縄づくり（中止）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

〇黒枝豆収穫体験

開催日：１０月１８日（日）　参加者：７人

〇丹波篠山茶プロジェクト

２月寒茶づくり体験

開催日：令和３年２月６日（日）　参加者：９人

稲刈り体験

◇成果（自己評価等）

公園内の棚田で行う赤米の栽培は、地域の協力を得て、古代米・赤米を育てています。田植えから稲刈り、収穫後には食文化体験として、もちつき、しめ縄づくり等までを体験していただいています。毎年、市内外のこども園の幼児や小学生をはじめ、都市部からの親子参加があります。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために稲刈りのみの実施となりました。

また、丹波篠山茶プロジェクトは、日本茶インストラクターとともに企画実施しました。参加者からは好評でした。

② 地域と共に「まるごと間伐材利活用」事業

◇実施内容

多様な周辺施設やグループと連携しながら、公園内の間伐材を使うプログラムの提供や木工商品の開発に取り組み、周辺地域の人工林や里山について関心を持つ機会を提供しました。

〇大人の木工教室　計１９回　参加者：６８人

（毎月第１、第３土曜日）

〇こどもクラフト体験（定期的開催＋団体受入れ＋出前体験）　計８回　参加者：２７人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部プログラムを中止

大人の木工教室新メニュー

◇成果（自己評価等）

木工教室は、スギやヒノキの間伐材で切りたての香りを楽しみながら、初心者でも椅子やテーブルを製作できるプログラムで、参加者の満足度が高くリピーターもありました。

③ 地域団体主催　大規模イベント支援

◇実施内容

地域の貴重な「屋外イベントスペース」としての価値を活かし、「公園を使ってもらう」ことを積極的にＰＲし､地域団体が企画する自主イベントを積極的に誘致しました。

〇秋のなみきみちマルシェ（中止）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
〇丹波篠山市・丹波市中学生駅伝大会
開催日：１０月２１日（水）
〇丹有地区中学校駅伝大会
開催日：１０月２８日（水）
〇丹波篠山市ミニ駅伝大会
開催日：１１月７日（土）
〇冬の味覚市＆パンとお菓子のフェスティバル（中止）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
〇春のなみきみちマルシェ（中止）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

ミニ駅伝大会

◇成果（自己評価等）

多くの大規模イベントが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、駅伝大会のみ開催することが出来ました。

④「世界有数の恐竜・化石発掘現場なみきみち」恐竜パーク拠点事業

◇実施内容

公園を含めた周辺地域にある「篠山層群」から恐竜類や哺乳類等の化石が多く発見されています。この地域資源を積極的に活用し、周辺団体と連携をはかりながら恐竜化石を活用するプログラムやイベントを実施しました。

〇化石発掘体験会　計３回　　参加者：５６人

◇成果（自己評価等）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施回数や１度に参加できる人数が限られましたが、人気のプログラムのため、多くの人が参加されました。

⑤ かやぶき民家で昔あそび会

◇実施内容

公園内の貴重な屋内施設の茅葺民家の魅力をさらに生かし、地域の伝統文化を伝えるプログラムを実施しました。

〇凧づくり体験
開催日：令和３年１月１０日（日）
参加者：９人

凧づくり

◇成果（自己評価等）

凧づくりイベントは毎年、新年に開催しており、子どもたちが自分で描いたイラストの凧をあげ、冬の寒い中、公園で楽しく遊ぶ様子が見られました。

⑥「新たな里山文化」創造事業

◇実施内容

「里山」を守りながら自由な発想で使う「新たな里山文化」を公園が発信し、プログラムを実施しました。

〇ツリーイング体験
開催日：１１月２３日（日）計１回
参加者：１０人

ツリーイング体験

◇成果（自己評価等）

公園内の里山を会場に、安全な道具を使って木登りが出来るツリーイング体験を実施しました。

⑦ 地域連携イベントの実施

◇実施内容

公園施設を利用し、自主的に活動する団体と協力し、一般来園者に対するプログラムを実施しました。

次年度は、これらの活動団体を支援し、団体間の交流を図る登録制の会員制度「なみきみちクラブ」の設立を予定しています。

ブドウを描こう

〇お茶のイベント

七夕カフェ	開催日：７月５日（土） 参加者：８人
和紅茶をつくろう	開催日：７月２３日（木・祝） 参加者：５人
冬のはじまり茶会	開催日：１１月２９日（日） 参加者：８人

〇楽らく美香草こころと体の癒し講座

さわやか消臭スプレー作り	開催日：７月２９日（水）参加者：６人
アクセサリー作り	開催日：８月１９日（水）参加者：４人
ブドウを描こう	開催日：９月１６日（水）参加者：６人
満開の桜を描こう	開催日：令和３年３月１７日（水）参加者：８人

〇野鳥観察会　　開催日：１１月７日（日）参加者：１２人

◇成果（自己評価等）

丹波地域で活動している地域団体や個人と協力し、来園者が参加できるイベントを開催しました。新たに公園でイベントを開催するグループもあり、引き続き、地域団体と連携しながらイベントの開催を続けます。

⑧ 地域の自然環境づくりを先導する人材「モリビト」育成拠点事業

◇実施内容

行政、学校、周辺施設、企業等と連携し、地域の自然環境づくりを先導する人材「モリビト」を育てる事業を展開しました。

里山スクールでは、里山や森林の整備に必要な基礎的な知識を習得するための講座を開催しました。

トライやるウィーク代替事業

〇なみきみち里山の日のイベント（中止）
（丹波篠山市連携事業）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

〇住友ゴム工業（株）による植樹活動（中止）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

〇里山スクール
開催日：令和３年１月２３日（土）、２４日（日）、３１日（日）　計３回　参加者：４５人

〇トライやるウィーク代替事業
受入期間：１２月１４日（月）　受入人数：２人

◇成果（自己評価等）

里山の日のイベントや住友ゴム工業の植樹活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。トライやるウィークは１２月に代替事業として行い、中学生２人の活動を受け入れました。

⑨ ひょうごヘルシーパークプロジェクト

◇実施内容

乳幼児から高齢者まで多様な世代に健康づくりの「場」「機会」を提供しました。

公園の長い芝生園路を活かし、２本のポールを使ったノルディックウォーキングを毎月１回実施しました。

ノルディックウォーキング

〇ノルディックウォーキング（月１回開催）
計９回　参加者：７１人
※新型コロナウイルス感染症拡大防止、雨天荒天のため一部中止

◇成果（自己評価等）

ノルディックウォーキングは、リピーターでの参加者が多く、手入れの行き届いた公園を歩くのは気持ちいいなどと好評をいただいています。毎月１回の実施で、園内の花や樹木の四季の移り変わりを楽しみながら、気軽に健康づくりができる機会を提供しています。

⑩ 花と緑を活かしたイベントの実施

◇実施内容

季節ごとにテーマを設定し、実習形式で行う寄せ植え教室や、プリザーブドフラワーを使用したアレンジメント教室などを実施しました。

〇花と緑の教室
計７回　参加者：８０人
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止

〇フラーワーアレンジメントイベント
計５回　参加者：５６人

花と緑の教室

◇成果（自己評価等）

花と緑の教室は実習形式の講座で、寄せ植えのポイントをはじめ、植物の豆知識なども合わせて学ぶことができ、毎回参加される生徒さんが非常に多く、講師からは持ち帰った後の花の管理方法なども指導され、参加者に大変好評です。

里山ボランティア（森づくりスタッフ）養成事業

◇実施内容

里山の魅力や大切さをともに考え、身近な里山づくりを促進していくため、里山整備・管理活動などの森を守り育てる人材養成に取り組みました。

・森づくり活動アドバイザー２人設置
・里山倶楽部等の協力による里山林の保全整備
・森づくり講座の開催
（詳細は P36 講座一覧表に掲載）

丹波ビッ栗の森剪定

◇成果（自己評価等）

これまで里山の整備・管理に関するノウハウを伝授した森づくり講座受講者等が、丹波の森公苑の里山を拠点としたボランティア活動へ参加するなど、森づくりに参画する人材の育成につながっています。

国蝶オオムラサキの舞う里山づくり

◇実施内容

生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりを進めるため、里山のシンボルである国蝶オオムラサキを飼育展示するとともに、小学校等を中心とした地域での飼育指導等、関係機関と連携し実施しました。

啓発事業である「放蝶会」は、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため７月５日（日）に、兵庫丹波オオムラサキの会会員のみで実施しました。

また、地域の小学生を対象に「オオムラサキイメージ画コンテスト」を開催しました。

・小学校等への飼育指導
　２０小学校、１高校、１０施設
・イメージ画コンテスト
　対　　象：小学生
　応募点数：１９２点

小学校でのオオムラサキ出前講座

イメージ画コンテスト展覧会

◇成果（自己評価等）

小学校等での飼育指導や出前講座等を通じ、良好な里山環境を次世代が学ぶ機会を提供することができました。

また、事業推進に当たり、兵庫丹波オオムラサキの会の全面的な協力を得る等、効果的な運営ができました。

ささやまの森公園事業【ささやまの森公園】

１ 体験プログラムの展開

（１） 基本プログラム

① 里山体験班のプログラム

◇実施内容

草木で染めよう、みつろうでロウソクを作ろう、しめ縄を作ろう、布ぞうりを作ろうなど、里山文化に係る体験プログラムを実施しました。

実施回数：１２回
参 加 者：延べ９９人
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全１８回の内６回中止

草木で染めよう～サクラ～

◇成果（自己評価等）

伝統技術を体験することによって、伝統を守る苦労や里山のすばらしさを広めることができました。

② 里山伝承班のプログラム

◇実施内容

里山伝承（黒枝豆を収穫しよう）、そば道場シリーズ、こんにゃくを作ろう、黒豆のお味噌を作ろうなど、里山の恵みを活かし伝承する料理や特産物の栽培・活用に係るプログラムを実施しました。

実施回数：７回
参 加 者：延べ９０人
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全１６回の内９回中止

そば道場シリーズ　刈取

◇成果（自己評価等）

丹波篠山に残る食文化や伝統作物の栽培を実際に体験することによって、伝統を守る苦労や里山のすばらしさを広めることができました。

③ 自然学習班のプログラム

◇実施内容

バードウォッチング、セミのぬけがらを探そう、水辺の生きものを探そう、秋の花と実を楽しもう、冬の生きもの探し、早春の生きもの探しなど、園内の動植物を中心に生態・植生等の観察に係るプログラムを実施しました。

実施回数：７回

参 加 者：延べ６６人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全１２回の内５回中止

バードウォッチング

◇成果（自己評価等）

豊かな公園の植物・昆虫・水生生物などを観察したり、観察する方法を学ぶことにより自然環境への関心を高めることができました。

④ レクリェーション班のプログラム

◇実施内容

秋の深山登山、ダンボール箱でピザを焼こう、ささやまの森探検隊、アマゴのつかみ取りをしよう、親子で楽しむ紙工作、竹でスピーカーを作ろう、くん製器を作ろうなど、里山での楽しい遊びや活動に係るプログラムを実施しました。

実施回数：７回

参 加 者：延べ６８人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全１３回の内６回中止

アマゴのつかみ取りをしよう

◇成果（自己評価等）

自然を生かした森遊びや食事体験を通じ、自然環境の豊かさを体感することができました。

⑤ 里山復元班のプログラム

◇実施内容

囲炉裏テーブルを作ろう、ロケットストーブを作ろう、スギ玉を作ろう、シイタケづくり、森の時計作り、ミニ門松作り、チェンソー安全教室などを実施しました。

実施回数：１１回

参 加 者：延べ１０１人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全１３回の内２回中止

森の時計作り

◇成果（自己評価等）

里山の復元整備で発生する間伐材などを使ったプログラムを通して、里山への理解を深めました。

（２）特別プログラム

①　写真・絵画コンテストを実施

◇実施内容

「里山の自然や生きものを撮ろう、描こう」をテーマに６回目となる写真・絵画コンテストを実施しました。野鳥や昆虫、自然風景など２０点の応募がありました。厳正なる審査の結果、写真の部入賞作品３点、絵画の部特別賞２点を選び展示しました。

◇成果（自己評価等）

自然や里山文化を描写した写真を通して、多様な生物が生息する豊かな里山づくりの推進にふれる機会となりました。

写真・絵画コンテスト応募作品の展示

（３）森の学校（第１３期生）の開校

◇実施内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ようやく９月になって始まりました。例年に比べ開催回数は少なくなりましたが、こんにゃく作り、深山登山、クリスマスリース作りなど、普段の生活とは違う里山での様々な自然体験活動を経験しました。

開催回数：７回
参 加 者：９人

◇成果（自己評価等）

例年より短い７か月間の実施となりましたが、ボランティアスタッフの指導で、自ら体験学習をすることでたくましさを育むことができました。

第１３期生開校式

（４）団体プログラム

①　団体利用プログラム

◇実施内容

学校や団体の活動・交流の場として、自然観察、園内散策、木工クラフトなど、公園プログラムの提供や活動の支援をしました。

実施回数：１３回
参 加 者：２６２人
（森の学校、里山文化授業、社会体験事業の参加者を除く）

◇成果（自己評価等）

年齢構成や人数に応じた体験プログラムを提供することにより、里山のすばらしさ、大切さを広めることができました。

木工クラフト体験

② 兵庫県立篠山東雲高等学校「里山文化」の支援

◇実施内容

「里山と人々の生活から生まれた多くの文化を学び、自然や資源、生きていく環境、農業との関わりについて考える」を目的として実施される選択授業「里山文化」を支援しました。

実施回数：１７回
受 講 生：１０人

◇成果（自己評価等）

学校では体験できないプログラム（自然観察、間伐体験、こんにゃく作り、陶芸、木工クラフト、しめ縄作りなどの体験）を、ボランティアスタッフの指導を受けて体験しました。

間伐体験　スギの皮剥ぎ

③ 社会体験事業の受け入れ

◇実施内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった「トライやる・ウィーク」に代る行事として、社会体験事業に参加した中学２年生の受け入れをしました。

◇成果（自己評価等）

職場体験を通して地域のことを学び、生きる力を育むきっかけづくりを支援しました。

樹名札づくり

２ 園外活動等への参画

① 外部のイベント等に参画

◇実施内容

活動スタッフの協力により、外部のイベント等に参画し、ささやまの森公園の活動をＰＲしました。

丹波の森フェスティバル
開催日：１０月２５日（日）
場　所：丹波の森公苑

◇成果（自己評価等）

プログラムを通じ、地域との連携や交流を図ることができました。

2020 丹波の森フェスティバル
ウッドバーニング

丹波の森公苑環境学習推進事業

◇実施内容

丹波の森公苑の豊かな自然環境を生かして、子どもや地域住民の環境学習・自然体験活動を促進するとともに、次代の活動支援ボランティアを育成しました。

縄文土器づくり（丹波縄文の森塾）

・丹波縄文の森塾の開設
　年間　１１回
　塾生　２８人（小学３～６年生）
　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため２泊３日の縄文キャンプは２日間の日帰りに変更
（詳細は P36 講座一覧表に掲載）

・家族向け環境学習プログラム
　オオムラサキ観察

・環境体験学習支援プログラム
　里山の秋の実り体験

・自然体験活動リーダーの育成

・オオムラサキ越冬幼虫探し（中止）　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
・里山ふれあいハイキング（中止）　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
・さわってみ丹波いきもの大集合（中止）　※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

◇成果（自己評価等）

縄文の森塾は、四季を通じた自然とのふれあいの中で、学校とは違ったプログラムを体験することで、たくましく成長し、学校を越えた友達との交流の場ともなりました。

また、里山の秋の実り体験やオオムラサキ観察の実施により、丹波地域の子供たちに自然を肌で感じる機会を提供することができました。

生活創造活動支援事業（消費生活含む）

◇実施内容

丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集発信し、団体・グループ活動を支援しました。

また、消費者被害防止のための普及啓発を実施しました。

〇生活創造グループ登録と活動支援
- 登録グループ数　１９９団体
- グループ活動コーナーの利用　１０５件 ６１３人
- 生活創造活動グループサポート事業　９件

〇消費生活の普及啓発
- 消費生活出前講座の実施　６回
- 消費生活にゅーすの発行　４回

〇情報発信のための印刷機械の利用件数　２５２件

高等学校対象の出前講座
（１０月８日篠山鳳鳴高等学校）

縫わずに簡単ハンドメイドマスク
（７月２５日丹波の森公苑創作工房）

◇成果（自己評価等）

生活創造活動支援事業では、多くの活動を支援し、多彩なイベントに幅広い年代の方に参加いただくことができました。

消費生活に関しては普及啓発を通じ、正しい消費生活のあり方を喚起しました。

スポーツ大会・文化教室の開催【丹波年輪の里】

丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会

◇実施内容

平日利用のグラウンドゴルフ愛好者を対象に、相互の交流と利用を促進、健康づくりのため年４回の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため２回を中止、定員を削減して２回の大会を開催しました。

開催状況：６月３日（火）（中止）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
９月１日（火）（中止）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
１２月１日（火）１３４人／募集定員１９２人
令和３年
３月４日（水）１０７人／募集定員１６８人

年輪の里杯グラウンドゴルフ大会

◇成果（自己評価等）

参加希望者も多く、抽せんとなることが度々あります。大会の他に週末、祝日、夏休みなど繁忙期を除いた閑散期に芝生広場の活用を図っていますが、コロナ禍にもかかわらず利用者は年間２，５００人を超え、大変好評を得ています。

兵庫県地域高齢者大学４年制大学講座

「丹波 OB 大学」の開設

◇実施内容

生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成するため実施しました。

講　座：教養講座、特別講座
専門講座（①健康福祉コース・②地域文化コース・③生活創造コース）
学外研修、運動会、オープン学習、看護学生との交流、地域実践の日、学年別研修、地域別研修、クラブ活動（グラウンドゴルフ、童謡音楽、写真、パソコン、オカリナ、書道、水彩画、社交ダンスほか）

受講者：１２８人（令和２年４月時点）

開講日：７月１５日(水)～令和３年３月３日(水)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期・回数を変更して実施（全１６回）

日　程　　9：30～朝の集い
10：30～専門講座など
13：00～教養講座など
14：30～クラブ活動

（詳細は P37 講座一覧表に掲載）

特別講座

◇成果（自己評価等）

講座では、地域活動の実践者や学識経験者、音楽療法士等を講師として招聘し、時代の変化に対応した話題をテーマに設定するなどして、受講生から高い評価を得ることができました。

また、学外研修、クラブ活動、学ぶ高齢者のつどいにおける作品展等の様々な活動を通して受講生間の交流を図るとともに、地域実践のネットワークづくりに寄与することができました。

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座

「丹波 OB 大学大学院」の開設

◇実施内容

兵庫県地域高齢者大学４年制大学講座「丹波ＯＢ大学」等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について総合的・体系的、かつ実践的に学習することにより、地域づくり活動などの実践能力を習得するとともに、地域づくり活動などへの主体的な取り組み意欲を醸成し、その実践者を育成するため実施しました。

講　座：１年生　講座、地域活動体験ほか
２年生　講座、ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸほか

受講者：１年生　４人、２年生　４人

開講日：７月１５日(水)～令和３年３月３日(水)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時期・回数を変更して実施（全１６回）

（詳細は P39 講座一覧表に掲載）

フィールドワーク

◇成果（自己評価等）

１年生は、「丹波の森びと」をテーマとして、丹波地域で伝統文化を守り続け、生涯現役として活躍されている３名の方を訪ねるフィールドワークを実施しました。そこで様々な話を聞き、実際に体験を行うなどして多くの情報を得て、それらをもとに丁寧に調査・研究を実施していきました。研究発表会に向けて、全員で協力して素晴らしい成果をまとめ上げました。

２年生は、フィールドワークを取り入れるなど丹波の名産や偉人の調査を１年生時の活動に引き続き行いました。２年間、継続したテーマで実践活動を行うことで見識がさらに深まり、最終学年として充実した学習となりました。

丹波 OB 大学創立５０周年記念事業

◇実施内容

丹波ＯＢ大学が設立５０周年を迎えることを記念し、記念式典などの記念事業を実施しました。

（昭和４５年１０月１８日開設）

〇記念式典等

開催日：１１月４日（水）
場　所：丹波の森公苑ホール
内　容：記念式典
　　実践活動発表会、記念講演会
参加者：２２０人

〇記念作品展

期　間：１１月４日（水）～６日（金）
場　所：丹波の森公苑多目的ルーム、創作工房
内　容：書道、写真、絵画等
入場者：５５５人

〇記念誌発行

記念式典

実践活動発表会

◇成果（自己評価等）

記念事業は、丹波ＯＢ大学在学生と修了生代表から構成される実行委員会において企画・運営、準備等が進められるとともに、実践活動発表会や作品展には多くの在学生と修了生が参加されるなど学生主体の取組になりました。記念事業を通じてこれまでの丹波ＯＢ大学の歩みを顧みるとともに、時は移り変わっても、長寿社会を担っていく地域活動の実践者を養成し、高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進に寄与していくという本大学の開講目的を参加者一同再確認することができました。

講座「丹波学」の開設

◇実施内容

多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供しました。

ＮＨＫ大河ドラマ「麒麟がくる」の放映にあわせて、明智光秀の系譜から始まり最後までをたどる連続講座を実施しました。

テーマ：『明智光秀　～光秀は何を見たか～』
開催日：８月２９日(土)～１２月２６日(土)　全５回
受講者：１８３人（募集定員：１３０人）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催日等を一部変更して実施
（詳細は P41 講座一覧表に掲載）

第２回講義

◇成果（自己評価等）

大河ドラマ「麒麟がくる」の明智光秀に焦点を当て、明智光秀と丹波地域との関わりなど地域の魅力を再発見できる機会を提供できました。受講者数は、大河ドラマ効果もあり、募集定員を大きく上回りました。

学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催

◇実施内容

丹波市高齢者学級、丹波ＯＢ大学及び丹波ＯＢ大学大学院で学ぶ高齢者が創作作品の展示を通して日ごろの学習活動の成果を発表しました。

開催日：９月２４日(木）～２５日（金）
場　所：丹波の森公苑多目的ルーム
内　容：書、絵画、工芸、写真、短歌等の展示
参加者：２７７人
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、芸能発表は中止
また、丹波篠山市の高齢者大学は未開講により不参加

作品展

◇成果（自己評価等）

兵庫県学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会実行委員会が主体となって、大会の運営を行いました。

多くの作品出展を通じて日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい、交流を深めることができました。

丹波の森子どもミュージカル体験塾

◇実施内容

将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図るため、「子どもミュージカル体験塾」を実施しました。

〇丹波の森子どもミュージカル体験塾レッスン
開催期間：９月６日(日)～令和３年１月１６日(土)
全１７回
参 加 者：４８人

丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演

〇丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演
公 演 日：令和３年１月１７日(日)　２回公演
演　　目：「オズの魔法使い」
（「劇団ウエスト」の劇団員との共演）
入 場 者：６６０人
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程を変更して実施

◇成果（自己評価等）

丹波地域の小学生・中学生・高校生４８人の子どもたちが、劇団ウエストの劇団員による指導を受け、個々の歌・ダンス・演技に磨きをかけ、塾生全員が日頃のレッスンの成果を発揮し、観客の心に感動を与える舞台を行うことができました。

レッスンにより鍛えられ、磨き抜かれた塾生のダンスや歌唱力、演技力にホール全体が魅了され、多くの来場者から賞賛を得ることができ、すべての塾生の成長が感じられた公演でした。

丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りべクラブの活動支援

◇実施内容

当協会が発行している「丹波のむかしばなし（全１０集）」には、昔から語り継がれてきた郷土の民話や伝説を１１９話（丹波篠山市５２話・丹波市６７話）収録しています。

一人でも多くの方に「丹波のむかしばなし」を知ってもらうきっかけとなり、またできるだけ多くの子どもたちが読んでくれることを願い、「丹波のむかしばなし原画展」を開催しました。

展示風景

○丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし原画展Ⅶ
開催期間：６月２４日（水）～７月５日（日）
場　　所：丹波の森公苑　展示ギャラリー
内　　容：第７集（４話～９話）４５点
入 場 者：２２０人

◇成果（自己評価等）

語りべクラブの活動は、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛をされました。

事務局としては、これからは「新しい語りの方法」を提案し、その中で動画配信ツールなどを利用して、より多くの方に「丹波のむかしばなし」を周知できる機会を探っていけるよう、今後も語りべクラブの活動を支援します。

丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばの開催

◇実施内容

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オープニング・サロンコンサート、ガラ・コンサート、街角コンサート、キン・コン・カン・コンサートをやむなく中止しました。しかし、テーマを「シューベルティアーデたんば回想と道標」とし、トライアルライブの生配信、畑音楽監督と街角コンサート実行委員会代表との対談動画制作やこれまでの様々なコンサートの動画を編集し、YouTube による動画配信する事業を展開しました。

トライアルライブ

開催期間：９月１日(火)～令和３年１月３１日(日)
テ ー マ：シューベルティアーデたんば回想(かえりみ)と道標(みちしるべ)

〇トライアルライブ１（無観客）
開催日：１０月９日(金)
場　所：お菓子の里丹波ミオール館
〇トライアルライブ２
開催日：１１月１３日(金)
場　所：丹波の森公苑ホール
参加者：４２人

〇動画配信
配信動画：６６本
視 聴 数：１万４千回

〇ふるさと音楽ひろば（小学校５校）
参加者：８１６人

◇成果（自己評価等）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初計画していた事業を変更し、観客数を制限した上でのトライアルライブ開催・生配信、畑音楽監督と街角コンサート実行委員会代表との対談動画の制作・配信、これまでのコンサート動画の編集、YouTube による配信などの事業を実施しました。この結果、過去の映像記録のデータバンクを制作、完成させるとともに、動画配信により多くの方に視聴していただき、音楽を通しての丹波地域の魅力発信につなげることができました。

丹波の森公苑ホール等自主事業

◇実施内容

丹波地域在住の新進気鋭アーティストの活動を応援し、地域の方々に広く紹介し交流を深めることを目的に「丹波の森芸術展」を開催しました。

丹波の森芸術展

開催日：令和３年２月１３日(土)～１４日（日）
場　所：丹波の森公苑多目的ルーム
出展者：８人（公募、招待）
入場者：４４８人

◇成果（自己評価等）

公募等により８人のアーティストが参加し、絵画、木工、陶芸など幅広いジャンルの作品が集う芸術展となり、多くの来場者で賑わいました。

アートクラフトフェスティバル in たんばの開催【丹波年輪の里】

◇実施内容

２９回目となる「アート・クラフトフェスティバル in たんば２０２０」は１１月７日（土）～８日（日）に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、その代わりとして本イベントの紹介や、出展作家の作品の紹介、販売先、連絡先などの案内を掲載したＷＥＢ上でのフェスティバル開催を行いました。

ＷＥＢ開催期間：１１月７日（土）～１２月３１日（木）
総閲覧数：33,416 ビュー

◇成果（自己評価等）

現地（丹波年輪の里）では開催出来ませんでしたが、ＷＥＢ開催にはたくさんの閲覧者があり、遠方に住む方々へ本イベントを周知する良い機会にもなりました。

丹波の森アートフェスティバルの開催

（兵庫県文化賞受賞者小品展、展示ギャラリーの開設）

◇実施内容

日頃から美術を愛好し、創作活動に励まれている多くの人々の作品を展示することにより、世代や分野を越えた心の交流を深め、豊かな芸術文化の高揚を図りました。

〇２０２０兵庫県文化賞受賞者小品展
開催日：１０月２９日(木)～１１月１日(日)
出展数：３９点
入場者：９４人

〇展示ギャラリーの開設
利用件数：２５件
利用日数：２２７日
利 用 率：８３％

〇第４４回丹波の森新春書き初め展（中止）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

兵庫県文化賞受賞者小品展

◇成果（自己評価等）

兵庫県文化賞受賞者小品展は、県民の文化芸術に対する理解を深める一助となりました。
また、展示ギャラリーは、日頃から創作活動に励まれている方の発表の場として幅広い分野の展示で利用されました。利用率も高く、毎回さまざまな展示で会場は多くの来場者で賑わいました。

伝統文化活性化支援事業

◇実施内容

丹波地域の民俗芸能を地域の宝、誇りとして見直し、次代に伝えていくため、民俗芸能の発表・鑑賞の機会を提供するとともに、子どもたちに和楽器の素晴らしさを伝えるため鑑賞会を開催し、伝統文化の活性化を促しました。

子どもたちのための和楽器鑑賞会

〇子どもたちのための和楽器鑑賞会
（丹波文化団体協議会による出前授業）
開催日：１１月～令和３年２月の間
場　所：丹波管内の小学校、特別支援学校１０校
内　容：和楽器（尺八、箏、三味線）演奏の鑑賞
及び演奏体験
参加者：２３６人

〇第１２回丹波の森童謡唱歌の祭典・民俗芸能特別鑑賞（中止）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

◇成果（自己評価等）

和楽器鑑賞会は、丹波地域の小学校９校、特別支援学校１校で実施しました。丹波文化団体協議会の出前授業として、構成団体の中から講師として小学校等に出向いてもらい、子どもたちと交流しながら、尺八、箏、三味線などの和楽器に親しみをもってもらう機会を提供することができ、好評を得ました。

丹波地域情報の発信等

年報の発行、ＳＮＳ等での情報発信

◇実施内容

丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を「年報」「協会ニュース」で情報提供した他、フェイスブックとインスタグラムで、各施設の四季折々の様子やイベント案内など随時発信をしました。

また、令和３年２月にホームページをリニューアルし、デザインやモバイル対応ができるように改善しました。

・ホームページによる情報発信

アクセス件数　　２，６００件（兵庫丹波の森協会）
　　１９，８５６件（丹波の森公苑）
　　１０５，９６１件（丹波年輪の里）
　　８５，１３３件（丹波並木道中央公園）

※ささやまの森公園は次年度から対応

兵庫丹波の森協会ホームページ

◇成果（自己評価等）

年報については、２０１９年の主な事業や取組について記録書としてまとめるとともに、事業効果の検証を進めました。あわせて、協会ニュースについてもホームページに掲載し、地域の方々へ当協会事業についての理解と関心を深めていただくことができました。

また、ホームページをリニューアルしたことでデザインやモバイル対応ができるように改善され、閲覧数も増えています。随時更新作業ができ、タイムリーな情報を発信することができるようになりました。

丹波の森公苑入苑者６００万人達成

◇実施内容

豊かな緑の中で、県民の文化活動、スポーツ活動及びレクリエーション活動を促進するとともに、県民の真の豊かさの実現に向けたライフスタイルの創造や地域づくりを支援する拠点として平成８年４月に開苑した丹波の森公苑の入苑者が累計６００万人を達成し、９月６日（日）に記念セレモニーを実施しました。

<u>累計入苑者数の推移</u>

平成１２年	９月	１００万人
平成１６年	１０月	２００万人
平成２０年	７月	３００万人
平成２８年	６月	５００万人
令和　２年	９月	６００万人

入苑者６００万人達成記念セレモニー

開園以来の入園者数が累計１５０万人を突破【丹波並木道中央公園】

◇実施内容

２００７年１０月の開園以来、公園の入園者数が累計１５０万人を突破しました。

これを記念して、１２月１８日（金）に来園者１５０万人記念式典を開催しました。

入園者１５０万人達成記念セレモニー

◇成果（自己評価等）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大規模イベントや通常のプログラム等が中止になる中、公園利用者が増え、入園者数が順調に伸びました。今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策を行いながら、利用者の方々が安心して遊べる公園を目指します。

芸術文化団体等活動支援

芸術文化団体への活動支援

◇実施内容

丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波の森公苑を拠点として芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、丹波文化団体協議会総会や伝統文化体験フェスティバル等の事業がやむなく中止になりましたが、伝統文化鑑賞会等の事業を実施しました。

〇伝統文化鑑賞会

日　時：令和３年２月２３日（火・祝）
　　１３：３０～１５：００

場　所：丹波の森公苑多目的ルーム

内　容：桂三扇氏による落語、こどもお琴教室生徒発表、武庫川女子大学箏曲部発表、日本民謡秀敦会発表等

武庫川女子大学箏曲部の発表

◇成果（自己評価等）

丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波地域の芸術文化団体相互の連携を図るとともに、芸術文化団体等の発表、交流等の事業について円滑に実施できるよう支援しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった事業

・トライやる・ウィーク等の受入【丹波の森公苑】

・年輪の里事業【丹波年輪の里】
ギャラリーアトリエとゴールデンウィークフェスタ
丹波ウッドワーカークラフト

・座っ展２０２０ –丹波で坐る・木の椅子–

・第３３回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）※延期

・ささやまの森公園事業【ささやまの森公園】
春・秋の里山まつり
「里山の日」特別企画

・丹波の森収穫祭（なみきみちまつり）の開催【丹波並木道中央公園】

・丹波並木道中央公園の企画運営
あそび・まなびステーション事業

【新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館期間】

丹波の森公苑
４月８日（水）～５月１７日（日）
※公苑内の芝生広場や里山エリアの散策は可能

丹波年輪の里
４月９日（木）～５月３１日（日）
※館内の散歩や遊具を使っての遊びは可能
レストランは通常営業

ささやまの森公園
４月１５日（水）～５月３１日（日）
※公園内の散歩や遊具を使っての遊びは可能

丹波並木道中央公園
４月９日（木）～５月３１日（日）
※公園内の散策、休憩、三釈迦山登山等の利用は可能

兵庫丹波の森協会事務局・丹波の森公苑

・講座一覧

・出前講座の状況

・活動一覧

・施設利用一覧

・評議員会の開催状況

・理事会の開催状況

・評議員名簿

・協会役員名簿

・運営委員会の開催状況

・運営委員会委員名簿

・機能

・沿革

・施設の概要

・組織と職員

講座一覧

丹波の森大学（第30期）

回	開催日	テーマ・内容　（基本テーマ：森と出会う、森と集う）	講師（敬称略）
1	6月20日	森と出会う、森に集う	有限会社きんもくせい 代表取締役　天川　佳美
2	7月18日	災害復興と自然環境	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授　澤田　雅浩
3	8月8日	森林を生きるニホンザルなどの野生動物の保全と課題	神戸大学人間発達環境学研究科 准教授　清野　未恵子
4	9月12日	森と共生する生活	（公財）兵庫丹波の森協会丹波の森研究所 特任研究員 大阪府立大学名誉教授　上甫木　昭春
5	11月14日	現地学習 城崎国際アートセンター、兵庫県立コウノトリの郷公園、出石永楽館	
6	11月28日 （中止）	公開講座 鳥と森と人間の文化誌 ※講師の都合	公益財団法人山階鳥類研究所所長　奥野　卓司
7	12月12日	森で育つ子どもたち	兵庫県立大学大学院　緑環境景観マネジメント研究科准教授　嶽山　洋志
8	12月19日	森の住まいと町の住まい	関西学院大学総合政策学部教授 丹波の森大学学長　　角野　幸博
9	令和3年 1月16日 （中止）	公開講座 森で生活する ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	兵庫県立人と自然の博物館 名誉館長　岩槻　邦男
	1月23日	【閉講式】 みどりの学術賞受賞中瀬勲記念講演会	兵庫県立人と自然の博物館館長　中瀬　勲

花と緑の教室

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月14日	講義：植物に関する基礎知識① 実習：夏の草花を使った寄せ植え ※　新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止	県立フラワーセンター派遣講師　門上　幸子
2	7月16日	講義：植物に関する基礎知識② 実習：熱帯の花木を使った寄せ植え	
3	9月17日	講義：植物にお関する基礎知識③ 実習：秋の草花の寄せ植えと管理法	
4	11月19日	講義：植物に関する基礎知識④ 実習：クリスマスを飾る寄せ植えと管理法	
5	12月17日	講義：植物に関する基礎知識⑤ 実習：正月を飾る寄せ植えと管理法	
6	令和3年 3月11日	講義：植物に関する基礎知識⑥ 実習：春の草花の寄せ植えと管理法	

園芸教室

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月21日 （中止）	実習：小作品づくり 講義：プロが教えるガーデニング ※　新型コロナウィルス感染症拡大防止のため	但馬高原植物園　植栽主任 田丸　和美 （ひょうごガーデンマイスター）
2	9月10日	実習：寄せ植えひょうごまちなみガーデンショー出展作品づくり） 講義：秋のガーデン管理Ｑ＆Ａその１	
3	9月24日	講義：秋のガーデン管理Ｑ＆Ａその２	
4	10月22日	実習：寄せ植え（森フェスティバル出展作品づくり）	
5	12月10日	実習：　クリスマス&お正月の寄せ植え 講義：　秋終わりのガーデン管理Ｑ＆Ａ	
6	令和3年 3月10日	実習：春の花いっぱいの寄せ植え 講義：春のガーデン管理Ｑ＆Ａ	

森づくり講座

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	10月3日	刈払機の使い方	森づくり活動アドバイザー
2	10月18日	刃研ぎと目立て	
3	11月1日	里山整備講座①（チェンソーの使い方）	
	11月15日	里山整備講座②（伐倒技術の基本）	
	11月29日	里山整備講座③（間伐の進め方（上））	
	12月18日	里山整備講座④（間伐の進め方（下））	
	令和3年 1月17日	里山整備講座⑤（伐倒木の処理）	
	2月21日	里山整備講座⑥（広葉樹の伐倒と処理）	

丹波縄文の森塾

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	6月20日	【開塾式・オリエンテーション】 「サツマイモ苗植え、オオムラサキ観察」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
2	7月11日	「縄文時代の話、縄文土器づくり」	滋賀県文化財保護協会 鈴木康二、陶芸家 宮本ルリ子ほか
3	8月1日	「縄文土器づくり、サツマイモのツル返し、水生生物採集・観察」	陶芸家 宮本ルリ子、市野和俊、丹波地域のホトケドジョウを守る会 山科ゆみ子、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
4	8月2日	「縄文土器づくり、ツリーイング、弓矢遊び」	陶芸家 宮本ルリ子、市野麻由子、Tree Master Climing Academy、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
5	9月19日	「ワラ縄づくり、秋の草花を飾る花台づくり、消しゴム版で版画、栗拾い」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
6	10月17日	「稲刈り、芋掘り、クリスマスリースづくり」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
7	11月28日	「里山尾根登り、昔ながらの脱穀体験」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
8	12月19日	「冬の里山散策、餅つき、しめ縄づくり」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
9	令和3年 1月16日	「凧づくり、シイタケ原木の玉切り、竹を使った飾りづくり」	森林インストラクター　山崎春人、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
10	2月20日	「シイタケほだ木づくり、記念植樹、竹トンボづくり・遊び」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
11	3月14日	【閉塾式】 「シューベルト花壇植栽、シイタケ狩り、みんなで一年を振り返ろう」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか

※　縄文キャンプ（7月31日～8月2日）は中止し、2日間（8月1日、2日）の日帰りで実施。

兵庫県地域高齢者大学４年制大学講座「丹波OB大学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	7月15日	【開講式】	
		学年別研修	
		令和元年度修了式	
2	7月22日	学年別研修	
		専門講座①健康福祉：「身近な認知症」	認知症対応型通所介護施設スマイル管理者　足立　宣孝
		専門講座①地域文化：「地質学から見た氷上回廊」	丹波自然友の会会員　永井　直樹
		専門講座①生活創造：「兵庫は『お城県』」	城郭研究家　本岡　勇一
		自治会総会　クラブ紹介	
3	8月26日	学年別研修	
		専門講座②健康福祉：「笑う門には音楽あり！歌って笑って健康寿命日本一」	音楽療法士　梅谷　浩子
		専門講座②地域文化：「丹波の豊かな食材」	無鹿リゾート　オーナーシェフ　鴻谷　佳彦
		専門講座②生活創造：「高齢者にとっての読み聞かせの意義と効果」	神戸親和女子大学教授　笹倉　剛
		学年別研修	
		クラブ活動	
4	9月9日	朝のつどい	
		特別講座①「駅伝とわが人生」	兵庫県立西脇工業高等学校 陸上競技部前監督　渡邊　公二
		学年別研修	
		クラブ活動	
5	9月25日	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会 （作品展鑑賞）	
6	10月7日	朝のつどい・看護学生との交流（全体会）	丹波市立看護専門学校　２年生
		看護学生との交流（学年別）	丹波市立看護専門学校　２年生
		専門講座③健康福祉：「人間は、電気仕掛けのロボット」	カラダづくりクラブ講師　足立　喜一
		専門講座③地域文化：「情報とコミュニケーション」	兵庫県立大学名誉教授　植野　和文
		専門講座③生活創造：「町中のキッカケ」	丹波篠山・まちなみアートフェスティバル 総合ディレクター　　中西　俊介
		クラブ活動	
7	10月14日	朝のつどい	
		教養講座①：「幸せな人生を歩むには」	丹州観音寺住職 前高野山真言宗教学部長　小籔　実英
		学年別研修	
		クラブ活動	
8	10月21日	朝のつどい	
		教養講座②：「邦楽の楽しみ」	都山流尺八　師範　井本　蝶山
		学年別研修	
		クラブ活動	

9	11月4日	丹波ＯＢ大学５０周年記念事業 　式典、記念行事（実践活動発表会、記念講演）、記念作品展	
10	11月18日	学外研修：但馬方面	
11	11月25日	学年別研修	
		専門講座④健康福祉：「猫背姿勢を解消し心も元気に！からだほぐし体操」	健康運動指導士・ﾌﾘｰｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ　坂木　まの
		専門講座④地域文化：「文保寺蔵仁王像について～胎内から見えるもの～」	京都西山短期大学　学長　加藤　善朗
		専門講座④生活創造：「みんなの高速道路を知ろう！！～みち、ひと、・・・・未来へ～」	西日本高速道路（株）関西支社福知山高速道路事務所 総務課長　竹田　英之
		インターネット安全講座：「インターネットの安全安心な使い方」	一般社団法人　KOBEネット企画 企画部長　近藤　満男
		クラブ活動	
12	12月2日	朝のつどい	
		教養講座③：「シニア世代のライフプラン～おカネと金融商品のキホン～」	日本証券業協会 金融・証券インストラクター　下田　正人
		学年別研修	
		クラブ活動	
13	12月16日	学年別研修	
		専門講座⑤：「頭で食べない自然食」	自然食レストラン三心五観代表　藤本　傑士
		専門講座⑤地域文化：「丹波の偉人」	(株)丹波新聞社　代表取締役社長　荻野　祐一
		専門講座⑤生活創造：「ホテルという世界」	グランドニッコー淡路 取締役総支配人　星野　美奈子
		特別講座②「あきらめない心」	元パラリンピック競泳日本代表　伊藤　真波
		クラブ活動	
14	令和３年 1月20日	学年別研修	
		教養講座④：「健康と笑い」	落語家　ひょうご笑いの会 事務局長　三遊亭　楽団治
		地域活動研修	
		クラブ活動	
15	2月3日	自治会総会	
		大学院実践発表会	
		特別講座③（中止）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	ふるさと未来塾主宰 社会保険労務士　戸田　善規
16	3月3日	【修了式】	
		記念演奏会	多川響子（ピアノ）、馬淵清香（バイオリン）
		想い出の記録映写	

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波ＯＢ大学大学院」　１年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	7月15日	開講式	
		オリエンテーション	
		地域活動実践講座①	からくさ塾　主宰　小嶋　明
		令和元年度修了式	
2	7月22日	地域活動実践講座②:「生涯現役者を目指して」	からくさ塾　主宰　小嶋　明
		地域活動実践講座③:FW「丹波の森びと(1)」	からくさ塾　主宰　小嶋　明
		クラブ活動	
3	8月26日	地域活動実践講座④：FW「丹波の森びと(2)」	からくさ塾　主宰　小嶋　明
		地域活動実践講座⑤	
		クラブ活動	
4	9月9日	特別講座①「駅伝とわが人生」	兵庫県立西脇工業高等学校 陸上競技部前監督　渡邊　公二
		地域活動実践講座⑥：FW「丹波の森びと(3)」	からくさ塾　主宰　小嶋　明
		クラブ活動	
5	9月25日	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会	
		（作品展鑑賞）	
6	10月7日	地域活動実践講座⑦:「ワークショップ1」	からくさ塾　主宰　小嶋　明
		地域活動実践講座⑧	
		クラブ活動	
7	10月14日	教養講座①：「幸せな人生を歩むには」	丹州観音寺住職 前高野山真言宗教学部長　小籔　実英
		地域活動実践講座⑨:FW「丹波の森びと(4)」	からくさ塾　主宰　小嶋　明
		クラブ活動	
8	10月21日	教養講座②:「邦楽の楽しみ」	都山流尺八　師範　井本　蝶山
		地域活動実践講座⑩	からくさ塾　主宰　小嶋　明
9	11月4日	丹波ＯＢ大学５０周年記念事業 式典、記念行事（実践活動発表会、記念講演）、記念作品展	
10	11月18日	学外研修：但馬方面	
11	11月25日	地域活動実践講座⑪:「我がこと丸ごと地域共生社会づくり」	からくさ塾　主宰　小嶋　明
		地域活動実践講座⑫	
		クラブ活動	
12	12月2日	教養講座③:「シニア世代のライフプラン～おカネと金融商品のキホン～」	日本証券業協会 金融・証券インストラクター　下田　正人
		地域活動実践講座⑬:「ワークショップ2」	からくさ塾　主宰　小嶋　明

13	12月16日	地域活動実践講座⑭：「発表内容のまとめ」	からくさ塾　主宰　小嶋　明
		特別講座②「あきらめない心」	元パラリンピック競泳日本代表　伊藤　真波
14	令和３年 1月20日	教養講座④：「健康と笑い」	落語家　ひょうご笑いの会 事務局長　三遊亭　楽団治
		地域活動実践講座⑮:「実践発表に向けて」	からくさ塾　主宰　小嶋　明
15	2月3日	実践発表会	からくさ塾　主宰　小嶋　明
		特別講座③（中止）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	ふるさと未来塾主宰 社会保険労務士　戸田　善規
16	3月3日	【修了式】	
		記念演奏会	多川響子（ピアノ）、馬淵清香（バイオリン）
		想い出の記録映写	

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波ＯＢ大学大学院」　２年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	7月15日	開講式	
		オリエンテーション	
		地域活動実践講座①	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		令和元年度修了式	
2	7月22日	地域活動実践講座②:「活動計画推進:実施計画を作りましょう」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		地域活動実践講座③	
		クラブ活動	
3	8月26日	地域活動実践講座④：「活動計画推進：調査・研究の開始」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		地域活動実践講座⑤	
		クラブ活動	
4	9月9日	特別講座①「駅伝とわが人生」	兵庫県立西脇工業高等学校 陸上競技部前監督　渡邊　公二
		地域活動実践講座⑥：「調査・研究の継続と更新」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		クラブ活動	
5	9月25日	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会	
		（作品展鑑賞）	
6	10月7日	地域活動実践講座⑦:「調査･研究の継続と見直し」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		地域活動実践講座⑧:「調査･研究の継続と見直し」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		クラブ活動	
7	10月14日	教養講座①：「幸せな人生を歩むには」	丹州観音寺住職 前高野山真言宗教学部長　小籔　実英
		地域活動実践講座⑨	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		クラブ活動	
8	10月21日	教養講座②:「邦楽の楽しみ」	都山流尺八　師範　井本　蝶山
		地域活動実践講座⑩：「まとめ方の方向性確認」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子

9	11月4日	丹波ＯＢ大学５０周年記念事業 　式典、記念行事（実践活動発表会、記念講演）、記念作品展	
10	11月18日	学外研修：但馬方面	
11	11月25日	地域活動実践講座⑪:活動の集約「発表素材の確認」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		地域活動実践講座⑫	
		クラブ活動	
12	12月2日	教養講座③:「シニア世代のライフプラン～おカネと金融商品のキホン～」	日本証券業協会 金融・証券インストラクター　下田　正人
		地域活動実践講座⑬:活動の集約「発表内容の共有」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
13	12月16日	地域活動実践講座⑭：伝え方研究「より伝わる表現について」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		特別講座②「あきらめない心」	元パラリンピック競泳日本代表　伊藤　真波
14	令和３年 1月20日	教養講座④：「健康と笑い」	落語家　ひょうご笑いの会 事務局長　三遊亭　楽団治
		地域活動実践講座⑮:発表練習「内容・表現のブラッシュアップ」	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
15	2月3日	実践発表会	生涯学習応援隊so-so.39代表　北村　久美子
		特別講座③（中止）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	ふるさと未来塾主宰 社会保険労務士　戸田　善規
16	3月3日	【修了式】	
		記念演奏会	多川響子（ピアノ）、馬淵清香（バイオリン）
		想い出の記録映写	

令和２年度講座「丹波学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月29日	明智光秀の出自をめぐって	株式会社歴史と文化の研究所代表取締役　渡邊　大門
2	9月19日	赤井氏、荻野直正と明智光秀・織田信長・足利義昭との関係	小山工業高等専門学校　非常勤講師　山田　康弘
3	10月10日	近江時代の明智光秀	城郭談話会　会員　福島　克彦
4	11月21日	本能寺の変を考える	東京大学史料編纂所　准教授　金子　拓
5	12月26日	山崎合戦と惟任（明智）光秀 ～本能寺の変後の主導権を巡る動向～	東洋大学　非常勤講師　柴　裕之

令和２年度「丹波の森子どもミュージカル体験塾」

開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
9月6日	開講式	有限会社ウエスト・プロ 代表取締役　巽　詩郎、 劇団員
9月6日～ 令和3年 1月16日	レッスン（１７回）	
1月17日	発表公演「オズの魔法使い」	

出前講座の状況

森づくり課

回	開催日	場所	対象団体	テーマ等	人数
1	6月4日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキの学習	23
2	6月5日	丹波篠山市立岡野小学校	丹波篠山市立岡野小学校	オオムラサキの学習	23
3	6月9日	丹波篠山市立八上小学校	丹波篠山市立八上小学校	オオムラサキの学習	14
4	6月16日	丹波市立南小学校	丹波市立南小学校	オオムラサキの学習	20
5	6月17日	丹波市立中央小学校	丹波市立中央小学校	オオムラサキの学習	42
6	6月19日	丹波市立新井小学校	丹波市立新井小学校	オオムラサキの学習	15
7	6月25日	丹波市立三輪小学校	丹波市立三輪小学校	オオムラサキの学習	11
8	6月25日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	オオムラサキの学習	15
9	6月26日	丹波市立進修小学校	丹波市立進修小学校	オオムラサキの学習	19
10	6月30日	丹波市立黒井小学校	丹波市立黒井小学校	オオムラサキの学習	32
11	7月2日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキ放蝶会	23
12	7月2日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	水生生物の学習	15
13	7月7日	丹波市立東小学校	丹波市立東小学校	オオムラサキの学習	47
14	7月9日	丹波市立竹田小学校	丹波市立竹田小学校	オオムラサキの学習	14
15	7月10日	丹波市立崇広小学校	丹波市立崇広小学校	オオムラサキの学習	65
16	8月23日	柚津子供会・柚津自治会	丹波市春日町柚津	水生生物の学習	10
17	9月20日	丹波市立三輪小学校	丹波市立三輪小学校	オオムラサキの学習	11
18	10月8日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	水生生物の学習	15
19	10月15日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校他	水生生物の学習	15
20	10月28日	丹波市立東小学校	丹波市立東小学校	里山昆虫標本作り	47
21	11月4日	丹波市立東小学校	丹波市立東小学校	里山昆虫標本作り	47
22	11月12日	丹波市立東小学校	丹波市立東小学校	里山昆虫標本作り	47
23	11月18日	丹波市立東小学校	丹波市立東小学校	里山昆虫標本作り	47
24	令和3年 2月16日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキ越冬幼虫調査	23
25	2月17日	丹波篠山市立八上小学校	丹波篠山市立八上小学校	オオムラサキ越冬幼虫調査	32
26	3月5日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキ新3年生への引継式	46

合計人数　718

活動一覧

兵庫丹波の森協会・丹波の森公苑

令和２年４月１日～令和３年３月３１日

月　日	主　な　事　項	会　場
令和２年４月		
５月		
２５ 日	ホトケドジョウ５月定例調査	管内生息地
３１ 日	里山倶楽部	丹波の森公苑
６月		
４ 日	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
５ 日	森づくり出前講座	丹波篠山市立岡野小学校
９ 日	森づくり出前講座	丹波篠山市立八上小学校
	生活創造活動グループサポート事業 工房拓の仲間展「木彫り・クラフト・灯り」（～２１日）	丹波の森公苑
１６ 日	森づくり出前講座	丹波市立南小学校
１７ 日	森づくり出前講座	丹波市立中央小学校
１９ 日	森づくり出前講座	丹波市立新井小学校
２０ 日	丹波の森大学第１回	丹波の森公苑
	丹波縄文の森塾①	丹波の森公苑
２１ 日	ホトケドジョウ６月定例調査	管内生息地
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
２５ 日	森づくり出前講座	丹波市立大路小学校
２６ 日	森づくり出前講座	丹波市立進修小学校
３０ 日	森づくり出前講座	丹波市立黒井小学校
７月		
２ 日	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
	森づくり出前講座（水生生物関係）	丹波市立大路小学校
７ 日	森づくり出前講座	丹波市立東小学校
９ 日	森づくり出前講座	丹波市立竹田小学校
１０ 日	森づくり出前講座	丹波市立崇広小学校
１１ 日	丹波縄文の森塾	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
１５ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講式・令和元年度修了式	丹波の森公苑
１６ 日	花と緑の教室①	丹波の森公苑
１８ 日	丹波の森大学第２回	丹波篠山市民センター
２２ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
２５ 日	ホトケドジョウ７月定例調査	管内生息地
	生活創造活動グループサポート事業　縫わずに簡単ハンドメイドマスク	丹波の森公苑
２９ 日	生活創造活動グループサポート事業 おさんぽマルシェ６人展（～８月４日）	丹波の森公苑
８月		
１ 日	丹波縄文の森塾	丹波の森公苑
２ 日	丹波縄文の森塾	丹波の森公苑
５ 日	生活創造活動グループサポート事業　ippo(イッポ)ここから（～９日）	丹波の森公苑
８ 日	生活創造活動グループサポート事業 Summer親子で楽しむHandmadeワークショップ	丹波の森公苑
	丹波の森大学第３回	丹波篠山市民センター
１０ 日	丹波の森ミニガーデン（～３１日）	道の駅あおがき他
２３ 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
２５ 日	丹波市環境審議会	氷上住民センター
２６ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
２９ 日	講座「丹波学」①	丹波の森公苑
	ホトケドジョウ８月定例調査	管内生息地
３０ 日	出張化石発掘体験会	県立一庫公園

月　日	主　な　事　項	会　場
９月		
２ 日	森づくり出前講座	丹波市立三輪小学校
４ 日	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立東小学校
６ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾①（開講式）	丹波の森公苑
	子どもお琴教室①	丹波の森公苑
９ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
１０ 日	園芸教室①	丹波の森公苑
１２ 日	丹波の森大学第４回	丹波の森公苑
１３ 日	子どもお琴教室②	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業　ジュエリーマスクケースづくり	丹波の森公苑
１７ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾②	丹波の森公苑
	花と緑の教室②	丹波の森公苑
１９ 日	講座「丹波学」②	丹波の森公苑
	丹波縄文の森塾⑤	丹波の森公苑
２４ 日	兵庫県学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会作品展（～２５日）	丹波の森公苑
	里山の秋の実り体験（黒井小学校）	丹波の森公苑
２５ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
２６ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾③	丹波の森公苑
２７ 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	ホトケドジョウ９月定例調査	管内生息地
２９ 日	里山の秋の実り体験（認定こども園みつみ）	丹波の森公苑
３０ 日	里山の秋の実り体験（大路小学校）	丹波の森公苑
	園芸教室②	丹波の森公苑
１０月		
１ 日	里山の秋の実り体験（認定こども園さちよ）	丹波の森公苑
	里山の秋の実り体験（船城小学校）	丹波の森公苑
	オオムラサキ絵画展選考委員会	丹波の森公苑
２ 日	里山の秋の実り体験（照福認定こども園）	丹波の森公苑
３ 日	生活創造活動グループサポート事業 ～写真がもっと楽しくなる～写真教室	丹波の森公苑
６ 日	里山の秋の実り体験（東小学校）	丹波の森公苑
７ 日	丹波ＯＢ大学（看護学生との交流）、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
	里山の秋の実り体験（富山こども園）	丹波の森公苑
	里山の秋の実り体験（前山小学校）	丹波の森公苑
８ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾④	丹波の森公苑
	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波篠山市立岡野小学校
	里山の秋の実り体験（和田小学校）	丹波の森公苑
	森づくり出前講座（水生生物関係）	丹波市立大路小学校
９ 日	シューベルティアーデたんば「トライアルライブ１」	お菓子の里ミオール館
	里山の秋の実り体験（認定こども園ぬぬぎ）	丹波の森公苑
	里山の秋の実り体験（南小学校）	丹波の森公苑
１０ 日	講座「丹波学」③	丹波の森公苑
	子どもお琴教室③	丹波の森公苑
１１ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑤	丹波の森公苑
１３ 日	里山の秋の実り体験（認定こども園かすが花の子園）	丹波の森公苑
１４ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
	里山の秋の実り体験（新井小学校）	丹波の森公苑
１５ 日	里山の秋の実り体験（認定こども園かすが森の子園）	丹波の森公苑
	森づくり出前講座（水生生物関係）	丹波市立大路小学校
１６ 日	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立和田小学校
	里山の秋の実り体験（崇広小学校）	丹波の森公苑
１７ 日	子どもお琴教室④	丹波の森公苑
	丹波縄文の森塾⑥	丹波の森公苑
	ホトケドジョウ１０月定例調査	管内生息地
１８ 日	森づくり講座（刃研ぎと目立て）	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	出張化石発掘体験会	県立尼崎の森中央緑地
２１ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
２２ 日	園芸教室③	丹波の森公苑
２５ 日	2020丹波の森フェスティバル	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	出張化石発掘体験会	丹波の森公苑

月　日	主　な　事　項	会　場
１０月		
２８ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑥	丹波の森公苑
	森づくり出前講座	丹波市立東小学校
２９ 日	兵庫県文化賞受賞者小品展（～１１月１日）	丹波の森公苑
３１ 日	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（～１１月１１日）	ゆめタウン丹波
１１月		
１ 日	森づくり講座（里山整備講座①）	丹波の森公苑
４ 日	森づくり出前講座	丹波市立竹田小学校
	丹波ＯＢ大学創立５０周年記念式典、記念作品展（～６日）	丹波の森公苑
７ 日	丹波地域環境パートナーシップ会議	四季の森生涯学習センター
８ 日	出張化石発掘体験会	県立舞子公園
１１ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑦	丹波の森公苑
１３ 日	シューベルティアーデたんば「トライアルライブ２」	丹波の森公苑ホール
１４ 日	丹波の森大学第５回現地学習	豊岡市
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑧	丹波の森公苑
	子どもお琴教室⑤	丹波の森公苑
	ホトケドジョウ１１月定例調査	管内生息地
１５ 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	森づくり講座（里山整備講座②）	丹波の森公苑
	出張化石発掘体験会	県立一庫公園
１７ 日	丹波市環境審議会	丹波市役所
１８ 日	丹波ＯＢ大学・ＯＢ大学大学院（学外研修：但馬）	但馬方面
１９ 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立船城小学校
	花と緑の教室③	丹波の森公苑
２１ 日	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立鴨庄小学校
	講座「丹波学」④	丹波の森公苑
２５ 日	丹波ＯＢ大学・ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波篠山市立八上小学校
２７ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑨	丹波の森公苑
２８ 日	丹波縄文の森塾⑦	丹波の森公苑
２９ 日	森づくり講座（里山整備講座③）	丹波の森公苑
３０ 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波篠山市立篠山小学校
１２月		
２ 日	丹波ＯＢ大学・ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
４ 日	生活創造活動グループサポート事業　初冬の健康気功体験教室	丹波の森公苑
５ 日	出張化石発掘体験会	淡路島国営明石海峡公園
９ 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立三輪小学校
１０ 日	園芸教室④	丹波の森公苑
１１ 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立新井小学校
１２ 日	丹波の森大学第７回	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑩	丹波の森公苑
１３ 日	森づくり講座（里山整備講座④）	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	出張化石発掘体験会	篠山チルドレンズミュージアム
１６ 日	丹波ＯＢ大学・ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
１７ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑪	丹波の森公苑
	花と緑の教室④	丹波の森公苑
１９ 日	丹波の森大学第８回	丹波の森公苑
	丹波縄文の森塾⑧	丹波の森公苑
	生活創造活動グループサポート事業 ウクレレ・クリスマス～ウクレレでクリスマス気分を味わってみませんか～	丹波の森公苑
２０ 日	ホトケドジョウ１２月定例調査	管内生息地
２６ 日	講座「丹波学」⑤	丹波の森公苑
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑫	丹波の森公苑
２７ 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
令和３年１月		
７ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑬	丹波の森公苑
	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（～１５日）	篠山市立中央図書館
１１ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑭	丹波の森公苑

月　日	主　な　事　項	会　場
令和３年１月		
１４ 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立小川小学校
	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑮	丹波の森公苑
１５ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑯	丹波の森公苑
１６ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑰	丹波の森公苑
	丹波縄文の森塾⑨	丹波の森公苑
１７ 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾　発表公演	丹波の森公苑
	森づくり講座（里山整備講座⑤）	丹波の森公苑
２０ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日	丹波の森公苑
２１ 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立竹田小学校
	丹波市環境審議会生物多様性調査・研究部会	丹波市役所
２２ 日	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波篠山市立西紀北小学校
２３ 日	丹波の森大学閉講式、みどりの学術賞受賞中瀬勲記念講演会	丹波の森公苑
２４ 日	ホトケドジョウ１月定例調査	管内生息地
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
２８ 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立久下小学校
２月		
３ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院開講日（大学院実践発表会）	丹波の森公苑
	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（～１４日）	丹波の森公苑
５ 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立吉見小学校
７ 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
１０ 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	県立氷上特別支援学校
１１ 日	ホトケドジョウ２月定例調査	管内生息地
１３ 日	丹波の森公苑ホール等自主事業「丹波の森芸術展」（～１４日）	丹波の森公苑
１６ 日	森づくり講座	丹波篠山市立篠山小学校
１７ 日	森づくり講座	丹波篠山市立八上小学校
２０ 日	丹波縄文の森塾⑩	丹波の森公苑
２１ 日	森づくり講座（里山整備講座⑥）	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
２３ 日	伝統文化鑑賞会	丹波の森公苑
２４ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院運営委員会	丹波の森公苑
３月		
３ 日	丹波ＯＢ大学、丹波ＯＢ大学大学院修了式	丹波の森公苑
５ 日	森づくり講座	丹波篠山市立篠山小学校
７ 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
１１ 日	園芸教室⑤	丹波の森公苑
１３ 日	ホトケドジョウ３月定例調査	管内生息地
１８ 日	花と緑の教室⑤	丹波の森公苑
２０ 日	丹波縄文の森塾⑪　閉塾式	丹波の森公苑
２１ 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑

施設利用一覧

（令和２年４月１日～令和３年３月３１日）

施設	申込件数	稼動日数	利用日数	利用率				利用回数	利用人数
				１日単位	午前	午後	夜間		
	件	日	日	%	回	回	回	回	人
ホ　ー　ル	41	275	39	14.2	24	36	13	73	4,854
					8.7	13.1	4.7		
練習室兼楽屋	190	275	153	55.6	70	87	91	248	3,258
					25.5	31.6	33.1		
楽　屋　Ａ	23	275	23	8.4	20	22	6	48	120
					7.3	8.0	2.2		
楽　屋　Ｂ	30	275	30	10.9	16	26	8	50	66
					5.8	9.5	2.9		
創作工房	71	275	68	24.7	60	66	10	136	1,571
					21.8	24.0	3.6		
多目的ルーム	158	275	146	53.1	108	128	56	292	6,908
					39.3	46.5	20.4		
和　　室	37	275	35	12.7	18	28	6	52	99
					6.5	10.2	2.2		
会議室１	148	275	134	48.7	93	70	31	194	1,026
					33.8	25.5	11.3		
会議室２	69	275	65	23.6	36	46	5	87	365
					13.1	16.7	1.8		
会議室３	98	275	91	33.1	64	68	10	142	912
					23.3	24.7	3.6		
セミナー室	166	275	148	53.8	97	107	23	227	3,058
					35.3	38.9	8.4		
絵画アトリエ	12	363	363	100.0	363	363	362	1,088	1,815
					100.0	100.0	99.7		
彫刻アトリエ	5	363	53	14.6	49	51	48	148	112
					13.5	14.0	13.2		
テニスコート	1078	259	211	81.5	412	702		1,114	7,754
					159.1	271.0			
グ　ラ　ン　ド	156	259	141	54.4	65	109		174	6,138
					25.1	42.1			
計	2,282	4,269	1,700	39.8	1,495	1,909	669	4,073	38,056
					35.0	44.7	15.7		

展示ギャラリー利用状況

月	展　示　会　名（開催期間）
４	第３回丹波ＯＢ大学写真倶楽部同窓会作品展（1～5）
５	飛行機とケーキの写真展（30～6/7）
６	工房拓の仲間展「木彫り・クラフト・灯り」(9～21) 丹波の昔ばなし原画展（21～7/5）
７	二灯会書作展（7～10） 岸本務津子油彩画展「心のジャズ」(12～24) 心のままに展（29～8/4）
８	想い（5～9） 二郎ふたり写真展(10～16) 夢虫展（むちゅうてん）(18～30)
９	2020 街歩きグループ写真展（1～13） 高齢者向け消費者トラブル防止パネル展示（15～21） パープル絵画教室作品展（27～10/10）
10	パステル画愛好会「ＮＵＫＵ森」展（11～23） ミニ着物展（27～11/8）
11	心を届けるたんば絵てがみコンクール巡回展（10～15） 趣味いろいろ二人展（18～23） 「年輪の里　絵画サークル」作品展（25～12/3）
12	“丹波の風景２”絵画小品展（12～25）
１	２０２１年巣立ち展（2～13） 風信書道会丹波教室　新春作品展（15～24）
２	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（3～14） 丹波ＯＢ大学　写真倶楽部と水彩画クラブ合同作品展（26～3/5）
３	サークル虹　作品展（6～17） 第４回丹波ＯＢ大学写真倶楽部同窓会作品展（18～31）

（公財）兵庫丹波の森協会評議員会の開催状況

区　分	開　催　日	開　催　地	出席者数	議　決　・　承　認　事　項
① 第17回	４月１日	（書面同意）	評議員 １１名	・理事の選任について
② 第18回	６月２４日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	評議員 ８名 理事３名 監事２名	・令和元年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告及び収支決算の承認について ・理事の選任について ・監事の選任について ・評議員の選任について ・評議員会長の選定について
③ 第19回	１２月５日	（書面同意）	評議員 １１名	・理事の選任について

（公財）兵庫丹波の森協会理事会の開催状況

区　分	開　催　日	開　催　地	出席者数	議　決　・　承　認　事　項
① 第29回	４月１日	（書面同意）	理事９名	・常務理事の選定について
② 第30回	６月５日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事７名 監事１名	・令和元年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告及び収支決算の承認について ・令和２年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算について ・第１８回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について
③ 第31回	６月２４日	（書面同意）	理事９名	・理事長、副理事長及び常務理事の選定について
④ ー	１２月４日	（書面同意）	理事８名	・第１９回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について
⑤ 第32回	１２月５日	（書面同意）	理事９名	・副理事長の選定について
⑥ 第33回	令和３年 ２月２７日	（書面同意）	理事９名	・令和２年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算（第２次）について
⑦ 第34回	令和３年 ３月２３日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事８名 監事１名	・令和２年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算（第３次）について ・令和３年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画及び収支予算について ・第２０回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について

（公財）兵庫丹波の森協会評議員名簿

令和３年３月３１日現在

役員等の種類	氏　　名	所　属　団　体　等
評議員	浅　葉　勇　貴	丹波青年会議所副理事長
〃	臼　井　雅　子	丹波市愛育会会長
〃	大　木　康　次	丹波青少年本部長
〃	太　田　鈴　子	丹波篠山市愛育会会長
〃	大　野　亮　祐	丹波市自治会長会会長
〃	荻　野　祐　一	(株)丹波新聞社代表取締役社長
〃	杉　尾　吉　弘	(株)夢こんだ代表取締役社長
〃	中　瀬　　勳	県立人と自然の博物館館長
〃	中　道　知代子	丹波市消費者協議会会長
〃	西　潟　　弘	丹波篠山市自治会長会会長
〃	本　多　紀　元	丹波篠山青年会議所理事

（注）評議員について、氏名の記載は５０音順

（公財）兵庫丹波の森協会役員名簿

令和３年３月３１日現在

役員等の種類	氏　　名	所　属　団　体　等
理 事 長	酒　井　隆　明	丹波篠山市長
副理事長	林　　時　彦	丹波市長
常務理事	酒　井　芳　朗	丹波の森公苑次長
〃	芦　田　　茂	（公財）兵庫丹波の森協会
理　事	片　寄　俊　秀	学識経験者
〃	角　野　幸　博	丹波の森公苑長
〃	飯　塚　功　一	兵庫県丹波県民局長
〃	八　尾　博　司	丹波文化団体協議会会長
〃	柳　川　拓　三	丹波市観光協会会長
監　事	渡　邉　康　夫	公認会計士

（注）理事、監事について、氏名の記載は５０音順

丹波の森公苑運営委員会の開催状況

運営委員会の開催状況

区　　分	開　催　日	開　催　地	出席者数	協　　議　　事　　項
第 43 回	令和 3 年 3 月 9 日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 多目的ルーム	17 名	[議事] ・事業の実施内容について ・施設利用の推進・情報発信について

丹波の森公苑運営委員会委員名簿

令和３年３月３１日現在

区　分	氏　　名	職　名・所　属　団　体　等	備　考
地域代表	赤井　俊子	英会話講師	
	大木　玲子	丹波市商工会　事務局長	
	竹岡　郁子	里山ようちえんふえっこ　代表保育士	
	土性　里花	一般社団法人ウイズささやま　総務課長	
	戸田　幸典	丹波市市民活動支援センター　スタッフ 特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構　代表理事	
	中道　知代子	丹波消費者団体連絡協議会　会長	
	藤井　洋一	神戸新聞社　丹波総局長	
	松尾　俊和	篠山音楽協会　会長	
	八尾　博司	丹波文化団体協議会　会長	
行政	岡　　誠	丹波県民局　副局長兼県民交流室長	
	堀井　宏之	丹波篠山市　企画総務部長	
	近藤　巧	丹波市　企画総務部政策担当部長	
学識経験	相川　康子	特定非営利活動法人ＮＰＯ政策研究所　専務理事	
	赤澤　宏樹	兵庫県立大学自然・環境科学研究所　教授	
	岡　絵理子	関西大学環境都市工学部　教授	
	河内　厚郎	文化プロデューサー	
	客野　尚志	関西学院大学総合政策学部　教授	
	清水　奈緒美	兵庫県広報専門員	
	端　　信行	兵庫県立歴史博物館　名誉館長	委員長

（氏名の記載は、50 音順）

機能

丹波の森公苑は、「丹波の森構想」を推進するため、森（地域）づくりをはじめ、豊かな自然の中で、文化、スポーツ、レクリエーション活動が楽しめ、真の豊かさの実現に向けた「新しいライフスタイルの創造」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」をみんな（住民、事業者、行政）で推進する拠点として、住民の方々の多様なニーズに対応できる多彩な事業・取り組みを展開するとともに、誰もが使いやすく、親しみやすい施設として機能の充実を図っています。

■　丹波の森公苑がめざすもの（役割・機能）

生活創造・地域づくりの広域拠点、相談・助言、情報収集・発信、学習機会提供・ネットワーク化支援

協働事業企画実施、活動支援機関の連携促進

1　研究員・アドバイザーなどが暮らしや活動を応援

■丹波の森研究所主任研究員、特任研究員	■森づくり活動アドバイザー
環境保全や人づくり、実践活動グループ等の取り組みに対し助言する等地域住民の調査研究活動を応援します。	親しめる森づくりや花いっぱい運動を支援し、緑豊かな丹波の森づくりを応援します。
■生活情報活動アドバイザー	■生活創造活動支援スタッフ
消費生活相談も含めた生活創造活動の相談、アドバイスなどを行い、地域住民の安全な暮らしを支援します。	地域の生活創造活動グループの情報発信や活動を支援します。
■展示・企画スタッフ	■芸術村スタッフ
展覧会の企画やギャラリー等での展示の機会を提供するなど、住民の芸術文化活動を応援します。	芸術を愛する人たちの創作活動を支援し、芸術家と住民との交流を進めます。
■地域活動コーディネーター（青少年本部職員）	
地域づくりの情報発信や相談、アドバイスなどを行い、様々な地域づくり活動を応援します。	

2　その他

■　会議室、ホール、多目的ルーム、アトリエ

■　展示ギャラリー、グループ活動コーナー、子ども室

■　スポーツ施設（グラウンド、テニスコート）、里山、親水河川、芝生広場、駐車場

展示ギャラリーのご案内　（１階）

あなたの作品　展示してみませんか？

丹波の森公苑正面の玄関を入ると、左手に展示ギャラリーがあります。

このコーナーは絵画や写真などの発表スペースとして、無料で開放しています（営利目的のものを除く）。

広報などのサポートもいたしますので、ぜひご利用ください。

■利用期間　　搬入出を含む 12 日間以内（休園日を除く）

■お申込み・お問合せ　　丹波の森公苑 2 階　文化振興部　（０７９５－７２－５１７０）まで

生活創造活動グループサポート制度のご案内

■ご利用特典　　【無料で利用できる施設と備品】

グループ活動コーナー（2 階）、展示ギャラリー、子供室、パンフレット台（活動情報紙配布用）、ココロン情報版（ポスター等掲示ボード）、情報ボックス（ グループ間の連絡用）、展示ケース

【有料で利用できる備品】

コピー機（有料　1 枚 10 円　紙代込み）、印刷機（有料　製版 30 円/枚、印刷 1 円/枚、紙は持参）

■対象グループ　　丹波地域に活動拠点を置き「消費生活」「芸術文化」「環境･資源」「健康･福祉」「家庭」「地域づくり」などの丹波地域ビジョン実現に向けて取り組んでいるグループです。

＊政治･宗教活動･営利目的など､サポート制度の目的になじまないグループは除きます。

■利用できる曜日及び時間

休園日を除く日の午前 9 時～午後 10 時（受付時間　午前 9 時～午後 5 時）

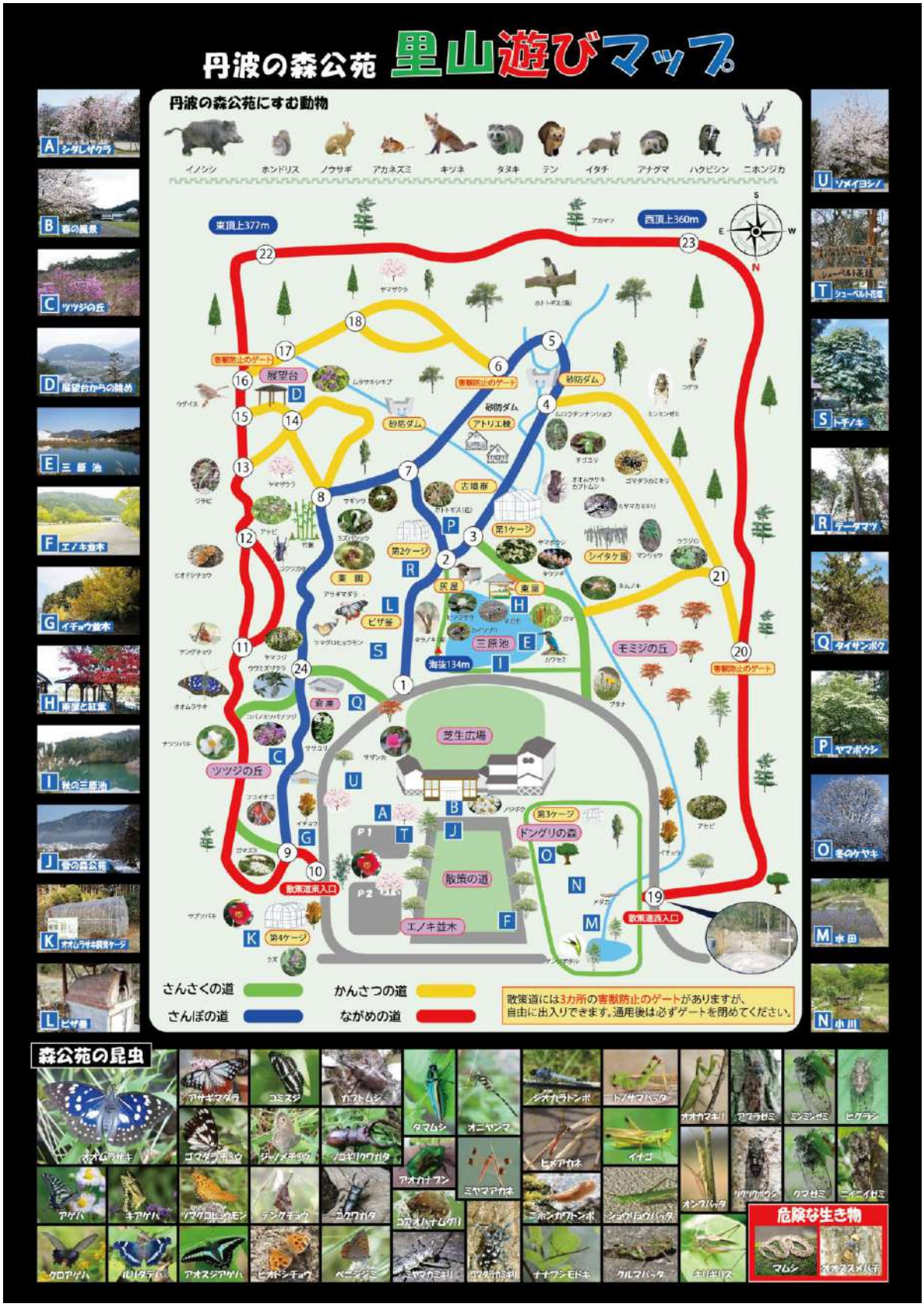
展示ギャラリーの利用は、午前 9 時～午後 5 時
受付期間：利用の 1 年前の初日から 5 日前まで
受付時間：午前 9 時～午後 5 時

印刷機･コピー機の利用は、午前 9 時～午後 5 時
受付時間：午前 9 時～午後 4 時 30 分

■お申込み・お問合せ　丹波の森公苑（０７９５－７２－２１２７）まで

楽しみましょう～森遊び～

■里山散策　　四季折々の自然にふれながら、自然観察、バードウォッチング、ハイキングが楽しめます。
■お問合せ　　丹波の森公苑１階　活動支援部　森づくり課（０７９５－７２－５１６５）まで



里山のおすすめ散策コース

「里山遊びマップ」を見ながら、里山散策に出かけましょう。
丹波の森公苑の里山には、レベルに合わせて歩けるよう
次の4種類のコースを用意しています。

さんさくの道（だれでも向きコース）

A：三原池を回るコース（約10分）

※池には入らないように注意しましょう

三原池には、一年を通してマガモなどの水鳥が見られます。岸辺には抽水植物のガマが育ち、特定外来生物のウシガエルがすみ、大きなオタマジャクシも見られます。夏から秋にかけては水面にヒツジグサ（スイレン科）が白い花を咲かせ、秋には池の周りがススキで覆われます。

B：ドングリの森から柏原住民センター方面を周遊するコース（約20分）

ドングリの森には10種類のドングリがあり，秋には多くの子どもたちが拾いにやってきます。このエリアにはミニ水田や小川があり、水辺の小動物がすんでいます。そして、かつて茅葺き屋根の材料となった、「オギ」「ヨシ（アシ）」「ススキ」などイネ科のよく似た3種類がそろって見られます。

C：ツツジ・ササユリコース（約30分）

⑩→⑨→㉔→①

2つの倉庫の裏を通るコースです。ヤマザクラ、ウワミズザクラ、ガマズミ、コバノミツバツツジ、モチツツジ、ヤマツツジ、ササユリ、アベマキ（ドングリ）、サルトリイバラ、ヤブコウジ（十両）、フユイチゴなど、四季を通していろいろな草木を見ることができます。

さんぽの道（約1時間）

①→②→③→④→⑤

入り口①からはゆるやかな上り坂。③の近くの池（三原池）には、スイレンの一種、ヒツジグサが浮かんでいます。花期は初夏から晩秋まで。花弁が10ほどの美しい白い花が水面に映る姿を楽しめます。水鳥の姿が見られるときも！

⑤→⑥→⑦→⑧

ゆっくりと下る道すがら、初夏にはヒノキ林の木漏れ日の中、桃色のタニウツギを見ることができます。また秋にはモミジやクヌギの紅葉がきれいです。⑥～⑦周辺の谷川をわたる時はキイチゴにも注目。自然の甘酸っぱさを楽しめます。

⑧→㉔→⑨→⑩

なだらかな山道を下り、ふもとを目指します。春先にはヤマツツジ、モチツツジの群生が里山を彩り、初夏にはササユリの群生を見ることができます。

かんさつの道（約2時間）

⑲→⑳→㉑→④→⑤→⑥

⑲から背の高いスギ、ヒノキの里山に入ります。この林は人が植林したものです。㉑の手前からは木の葉を踏む足音が変わったのに気づきましたか。コナラ、アベマキといった落葉樹の林に切り替わり、林中の明るさも変わってきます。鳥の声はどちらの方が多いでしょうか。⑤周辺にはホオノキがあり、大きい葉がたくさん落ちているのを見つけましょう。

⑥→⑱→⑰→⑯→⑮→**展望台**

⑥のゲートを開け、階段の続く山道を登ります。⑱では眼下が開け氷上盆地を俯瞰。⑰⑯はヒノキ林の中をアップダウンする道が続きます。下草があまり生えていないのはなぜでしょうか。考えてみましょう。

展望台→⑭→⑬→⑫→⑪→⑨→⑩

展望台からの下り道はコバノミツバツツジでいっぱい。かつてヒノキを伐採したことから今は明るい落葉樹の林に。⑩で下山口に出ます。

ながめの道（約4時間）

⑲→⑳→㉓ **西頂上**

⑲から西頂上を目指します。⑳にゲートがあり、それを抜けて起伏が多い道を進みます。道は自然地形のままで、一人しか通れないほど狭く、岩場もあるので注意してください。㉓からは眼下に氷上盆地が広がる眺望が楽しめます。

㉓ **西頂上**→㉒ **東頂上**

道は山の尾根部にあり、なだらかです。眺望を楽しみながら歩きましょう。㉒の手前にはヤマザクラ、ヤシャブシの大木を見つけられます。尾根の反対側の斜面は林相が異なり、背の低いアカマツが多く生えています。

㉒ **東頂上**→⑯～⑪→⑨→⑩

東頂上からはとても急な下り道です。足下がとても滑りやすいので、設置してあるロープを伝って降りましょう。⑯には再びゲートがあり、ここを抜けると展望台です。その後は⑭～⑪→⑨となだらかな道を、脚をクールダウンさせながら下りましょう。

丹波の森公苑 里山の動植物

森公苑には、たくさんの木々や草花が生育し、動物が生息しています。四季折々に美しい花を咲かせたり、おいしい実をつけます。はなやかなチョウなども見られます。里山は私たちの心を癒してくれます。里山で自然とふれあいましょう。

春

シダレザクラ

フデリンドウ　ムラサキサギゴケ　キランソウ　スミレ　ミズバショウ　ムラサキケマン　ミヤマキケマン　ショウジョウバカマ

カンサイタンポポ　セイヨウタンポポ
花を包む苞(ほう)がセイヨウタンポポは反り返る

コバノミツバツツジ　モチツツジ　ヤマツツジ　エビネ　ウワミズザクラ　ヤマブキ

夏

ササユリ

タイサンボク　ヤマボウシ　ヒツジグサ　ガマズミ　タニウツギ　ムロウテンナンショウ　キンラン　ノハナショウブ

サギソウ　ネムノキ　オドリコソウ　ノアザミ　コオニユリ　ゲンノショウコ　クズ　ヒオウギ

秋

イチョウ

ツルニンジン　ヤブラン　アキノタムラソウ　ツリフネソウ　コムラサキ　タカサゴユリ　ヤマジノホトトギス　アケビ（実）

アキノキリンソウ　アケボノソウ　ヤマハギ　ノブドウ(実)　ノジギク(県花)　ガマズミ(実)　サネカズラ(実)　サルトリイバラ(実)

冬

フユイチゴ

サザンカ　ヤブノツバキ　フユノハナワラビ　マユミ　ウラジロ　アセビ　ヤブコウジ(十両)　マンリョウ(万両)

野　鳥

水辺の生き物

丹波の森公苑のドングリ

森公苑には、植えたものを含めて12種類のドングリがあります。
いろいろな形や大きさのドングリを探しましょう。

沿革

（公財）兵庫丹波の森協会の設立

１　設立趣旨

丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森づくりを推進するため、以下の事業を実施する組織として設立されました。

１　自然環境の保全及び緑化の推進に関する事業
２　自然とのふれあいに関する事業
３　地域文化の保存・継承及び創造・育成に関する事業
４　丹波の森づくりの調査研究及び普及啓発に関する事業
５　丹波の森づくりを支援するための公の施設の管理運営及びこれに関する事業の受託
６　その他この法人の目的を達成するために必要な事業

２　沿　革

・昭和６３年１１月１６日　丹波の森構想を地域住民の総意で推進するための組織として「丹波の森協会（任意団体）」が発足
・平成　２年　２月　１日　兵庫県知事から「財団法人　丹波の森協会（公益法人）」の設立を認可
・平成　８年　４月　１日　県立丹波の森公苑の管理運営を受託
・平成１３年１０月　１日　兵庫県からささやまの森公園の事業を受託
・平成１８年　４月　１日　財団法人　兵庫丹波の森協会に名称を変更
同　兵庫県から丹波の森公苑の指定管理者に指定
同　篠山市から、ささやまの森公園（園地管理を除く）の管理運営を受託
・平成２１年　４月　１日　兵庫県から丹波の森公苑及び丹波年輪の里の指定管理者に指定
・平成２３年　４月　１日　兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定
・平成２４年　３月２６日　兵庫県指令文第３１１４号－1により公益財団法人として認定
・平成２４年　４月　１日　公益財団法人兵庫丹波の森協会に名称変更
同　兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
・平成２７年　４月　１日　兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
・平成２８年　４月　１日　兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（公財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定
・平成３０年　４月　１日　兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定

丹波の森公苑の設置

１　設置の趣旨

文化会館や生活科学センター、県民局で、それぞれ展開してきた文化や消費生活、地域づくりなどの活動を一体化し、機能を一層充実・発展させた生活創造センターの第１号として、また、県民が地域や世代を越えて、主体的に学習し、交流し、活動する全県的・基幹的野外ＣＳＲ施設の第１号として設置された施設であり、各圏域の地域づくり活動の広域拠点として、身近な活動を支え、活動の進展を支援していくとともに、圏域全体で取り組むべき県民と行政の協働事業を企画・提案し、地域力や文化力豊かな地域づくりを推進していきます。

２　沿　革

・平成　８年　４月　１日　兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成８年兵庫県条例第６号）により、氷上郡柏原町柏原５６００番地に設置
兵庫県立丹波の森公苑の管理運営を財団法人丹波の森協会に委託

・平成　８年　４月２９日　県立丹波の森公苑開園

・平成　９年　７月　６日　多目的グラウンド、テニスコート及びクラブハウスの供用開始

・平成１８年　４月　１日　財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成１８年度～平成２０年度）

・平成２０年　４月　１日　兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成８年兵庫県条例第６号）を廃止し、各生活創造センター及び拠点施設を兵庫県立生活創造センターの設置及び管理に関する条例（平成２０年兵庫県条例第８号）により一本化

・平成２１年　４月　１日　財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成２１年度～平成２３年度）

・平成２４年　４月　１日　公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成２４年度～平成２６年度）

・平成２７年　４月　１日　公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成２７年度～平成２９年度）

・平成３０年　４月　１日　公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成３０年度～令和２年度）

施設の概要

丹波の森公苑の概要

（1）敷地面積　　３５９，３９５．９９㎡

（2）建物面積　　延５，９５３．７４㎡

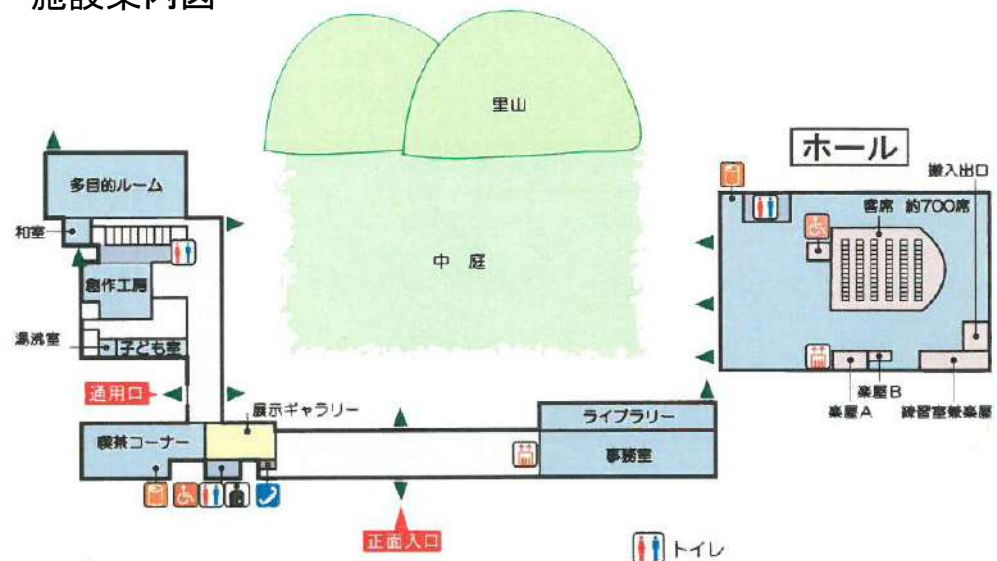
建物の内訳

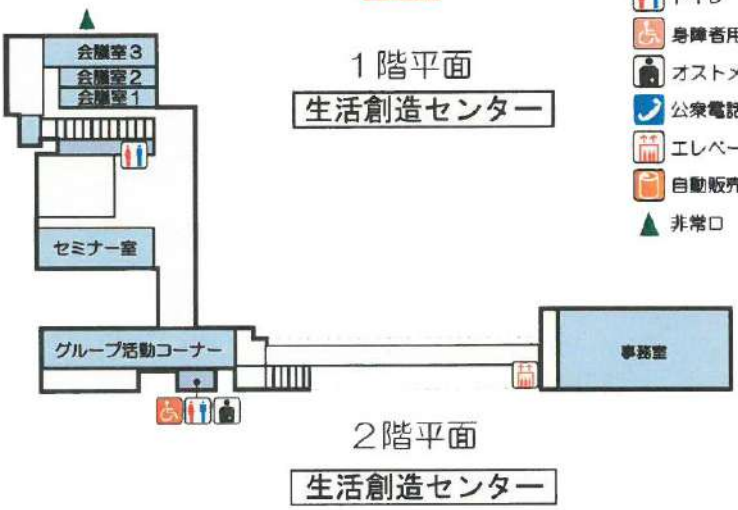
名称		建物面積（㎡）	内容
生活創造センター棟	管理情報棟	１，０６９．３３	ライブラリー、インフォメーション、グループ活動コーナー、事務室等
	研修創作棟	１，１４２．３６	多目的ルーム（展示等）、創作工房、和室、セミナー室、会議室１、会議室２、会議室３等
	渡り廊下	５３．２８	
	プロパン庫	５．１６	
ホール棟	ホール	２，９９６．２６	ホール（固定席６８５席、車椅子席１０席、親子席１０席（定員７０５名））、練習室兼楽屋、楽屋Ａ、楽屋Ｂ等
小計		５，２６６．３９	
その他	アトリエ	２１０．２８	絵画棟、彫刻棟
	クラブハウス	２５２．００	スポーツ施設内
	倉庫棟	２２５．０７	倉庫（４）、車庫兼倉庫（２）
小計		６８７．３５	
合計		５，９５３．７４	

屋外施設

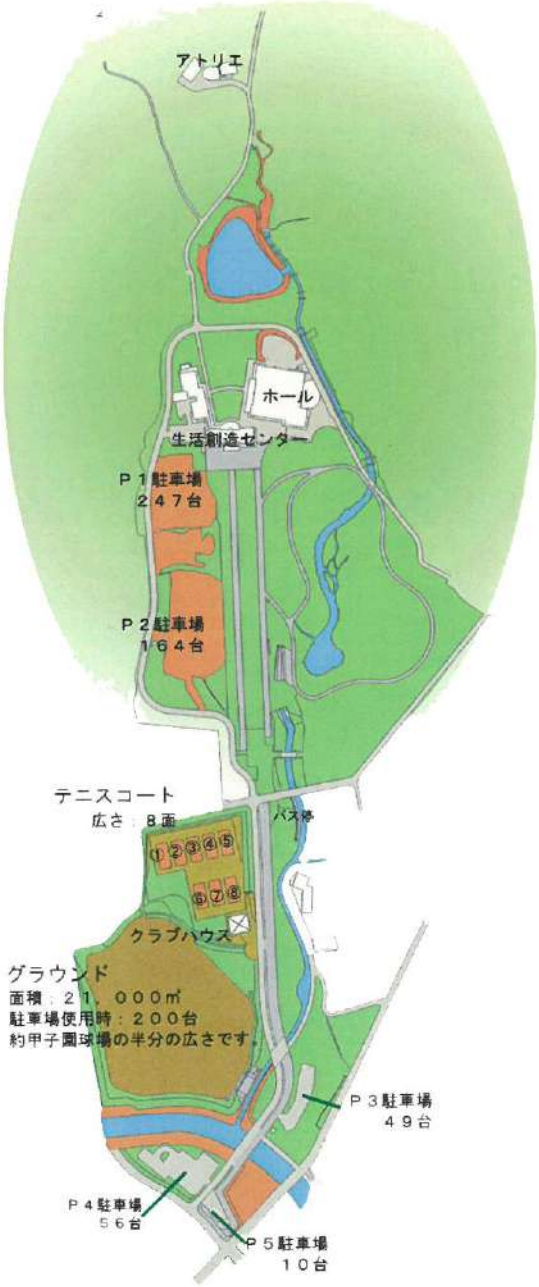
多目的グラウンド	２１，０００㎡
テニスコート	人工芝コート８面
里山、散策路	４９０，０００㎡（借地を含む）
その他の施設	主幹園路、親水河川、イベント広場、駐車場

施設案内図





- トイレ
- 身障者用トイレ
- オストメイト対応トイレ
- 公衆電話
- エレベーター
- 自動販売機
- 非常口



利用者の推移

令和２年度の利用者数

施設使用料対応入苑者数	３８，０５６人
推計入苑者数（参考）	４４，７６０人
計	８２，８１６人

平成８年度から令和２年度までの累計

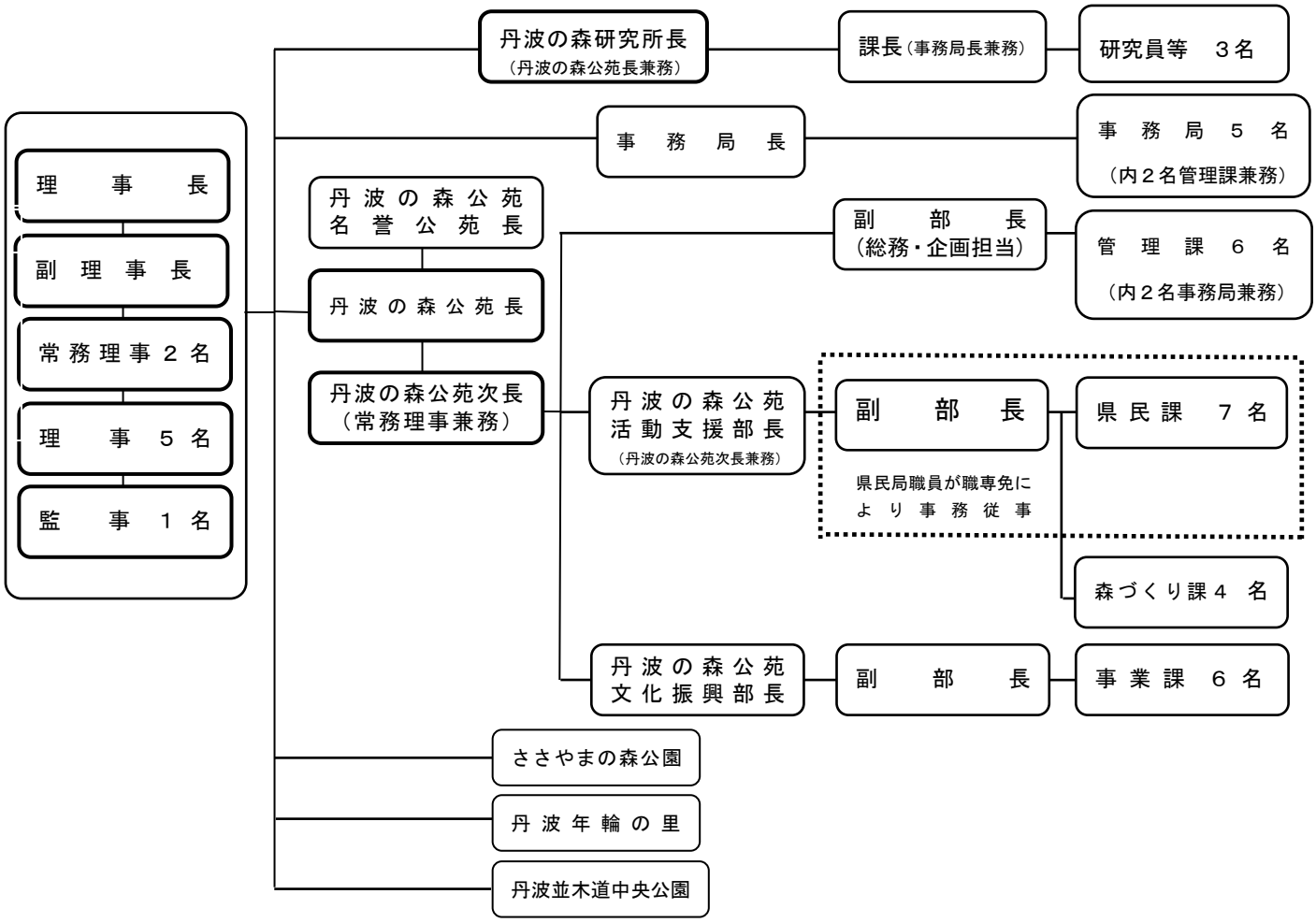
６，０５５，４５７人

組織と職員

（１）組　織　図

令和３年３月３１日現在

（公財）兵庫丹波の森協会組織図（太枠は役員）



（２）職　員　数

（単位：人）

区　分	事務職	小　計	非常勤嘱託員等	小　計	合　計
丹波の森研究所			研究員　2 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会 事務局員　1	3	3
協会事務局	2	2	企画調査事務嘱託員　1	1	3
丹波の森公苑	１１ 【５】	１１ 【５】	生活情報活動アドバイザー　1 生活創造活動支援スタッフ　1 森づくり活動アドバイザー　2 芸術村スタッフ　1 展示・企画スタッフ　1 管理事務嘱託員　2 丹波青少年本部嘱託員　【４】	８ 【４】	１９ 【９】

■　丹波の森公苑名誉公苑長、丹波の森公苑長及び同次長は役員等が兼務
■　丹波の森研究所長は丹波の森公苑長が、丹波の森研究所課長は協会事務局長が兼務
■　事務職欄の【　】書きは丹波県民局職員で外数
■　非常勤嘱託員等欄の【　】書きは丹波青少年本部職員で外数

（３）職員配置

［事務局］

事務局長	大垣　至康
事務局総務課長	（前田副部長兼務）
事務嘱託員	荻野　朋子
事務嘱託員	岸本　美鈴
主　　査	（小嶋主査兼務）
職　　員	（細川職員兼務）

丹波の森研究所

丹波の森研究所長	（角野公苑長兼務）
丹波の森研究所次長	（大垣事務局長兼務）
主任研究員	門上　保雄
特任研究員	上甫木　昭春
丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会事務局職員	宮脇　寛子

［丹波の森公苑］

名誉公苑長	（河合顧問兼務）
公 苑 長	（角野理事兼務）
次　　長	（酒井常務理事兼務）
活動支援部長	（酒井次長兼務）
文化振興部長	武部　治仁
副部長（総務企画担当）	前田　晃
活動支援部副部長	細見　秀和
文化振興部副部長	黒﨑　彰啓

活動支援部県民課

課　　長	（細見副部長兼務）
青少年指導専門員	蔭山　広明
課長補佐	石田　晃士
職　　員	吉田　紗央里
職　　員	田中　郁羽
生活情報活動アドバイザー	西山　　和
生活創造活動支援スタッフ	降矢　有彩
青少年愛護活動推進員	（欠　員）
地域活動コーディネーター	吉見　恵

総務企画担当管理課

課　　長	（前田副部長兼務）
主　　査	小嶋　栄子
職　　員	細川　明日香
職　　員	（荻野事務嘱託員兼務）
職　　員	（岸本事務嘱託員兼務）
管理事務嘱託員	吉田　正二
管理事務嘱託員	石井　和義

文化振興部事業課

課　　長	（黒﨑副部長兼務）
主任文化専門員	野村　一
主任文化専門員	福田　和洋
森づくり活動専門員（文化担当）	田畑　吉三
森づくり活動専門員（文化担当）	山本　喜美雄
展示・企画スタッフ	河津　知佳
芸術村スタッフ	酒井　寿男

森づくり課

課　　長	三浦　仁志
森づくり活動専門員	北条　正昭
森づくり活動アドバイザー	松原　泰夫
森づくり活動アドバイザー	角谷　慶治

［丹波出会いサポートセンター］

こうのとり出会いｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	兼子　香緒里
縁結びサポーター	西垣　奈緒子
縁結びサポーター	前川　悦生

丹波年輪の里

・活動一覧

・施設利用一覧

・運営協議会運営委員及び関係者名簿

・沿革

・施設の概要

・組織と職員

令和２年４月１日～令和３年３月３１日

工作事業活動

事業名	実　施　日	内　　容		参加者（人）
（1）　木工指導員による工作	通年	団体利用		２，４５９
	通年	個人利用（共同利用）		１．４１１
①　１年を通して開催する教室				
木彫り教室（自由・課題）Ⅰ	通年１９回	ブローチ、レリーフ、人形、ペンダント等自由課題		２３１
木彫り教室（自由・課題）Ⅱ	通年１９回	同　　上		２３１
②　その都度募集して実施する教室				
刃研ぎ塾　　５回開催	７月４日	刃物の研ぎ方を学ぶ		１２
	９月５日			１２
	１１月７日			１３
	令和３年１月９日			１３
GUGU 木工教室	７月５、１２、１９日	栗の丸盆		３３
	９月３、１３日	木杓子Ⅰ		１５
	９月２０、２７日	木杓子Ⅱ		１９
	令和３年１月１５、２２日	木杓子Ⅲ		６
	令和３年１月２４、３１日	木杓子Ⅲ		１６
	令和３年２月７、１４日	木杓子Ⅳ		１６
	令和３年３月２３、３０日	木杓子Ⅳ		６
木工教室	７月２５日、８月１日	私が作るマイスプーン		１９
	１１月１日　２８日	私が作るマイスプーン２		１４
	１２月５日	私が作る万華鏡		８
大工道具仕込み塾	１０月～３月(月２回)	研ぎ台の制作や調整した自分の道具で木工に挑戦する		８５
ウッドライフ木工教室	９月１１日午前・午後	スマートフォンスタンド		６
	９月２５日午前・午後			６
	１０月４・１１・１８日	オーバルバスケット		２４
	１１月８・１５・２２日	オーバルキャリー		２４
	１２月６・１３・２０日	オーバルボックス		２４
	令和３年２月１１日・２３日	ペーパーカップホルダー		１０
糸のこ教室	１２月１日	クリスマスツリー		１０
	１２月２６日	干支　丑と金太郎		１０
	令和３年２月２８日	ひな人形		１０
木工講座	７月～８月	第１９期　基礎　　クラフトスツール		４９
	１０月～１１月	第　９期　中級　　四段小袖出し		４８
	令和３年２月～３月	第２０期　基礎　　クラフトスツール		６２
夏休み親子工作教室	８月１６日	日光カメラ		８
	８月２９日	マイウッド・クロック		８
木工クラブ	２２回	趣味で集まったグループに工作指導を行う		１８２
木彫サークル	通年　　９回	木彫りの指導を行う		９２
クリスマスリース教室	１２月６日	自然の植物の蔓や松ぼっくり、葉っぱなどを使ってクリスマスリースを親子で作る。		１５

展示・イベント事業

事業名	実施日	内　　容	参加者（人）
【ウッドクラフト展】			
丹波の森ウッドクラフト展 歴代グランプリ作品展示	通　年	丹波の森ウッドクラフト展の歴代のグランプリ作品を展示紹介	
【木に関する展示】			
木材利用啓発展示	通　年	県民に木材利用を啓発するため、分かりやすい工夫をしたパネルを展示	
身近な木製品展示	通　年	・木のある暮らしに欠かせない木工品の展示 ・県産木材玩具（ヒノキの積み木）の展示と遊びコーナーの設置	
木のなんでも市・木珠あそび	通　年	木の普及振興事業として、丹波の木材製材関係の業者の協力のもと、県民を対象に木材、端材などの展示販売	
【文化関連・その他の展示】			
第４回こころを届けるたんば絵てがみコンクール	令和３年 ２月６日～２１日	絵手紙作品の公募と作品展示	出展　４４２人 ５７０点 見学　７４７人
年輪の里フリーマーケット	（中止）	フリマ出店者を募集、日用雑貨、衣類等のリサイクル市	
丹波ウッドワーカーズクラフト	（中止）	木工作家の作品展示と販売	
アート・クラフトフェスティバル in たんば２０２０	１１月７日～ １２月３１日	コロナ禍により今年は年輪の里での開催ではなく、WEB 開催を実施した。	総閲覧数： 33,416 ビュー

その他

丹波年輪の里友の会 ＊入会金１０００円 ＊年会費２０００円	通　年	会員には２４回の利用特典と、毎月「友の会おしらせ」等情報の提供、刃研ぎ塾などの参加を通して施設利用の促進と技術の向上と相互の交流を図る。	１，３８１

令和２年４月１日～令和３年３月３１日

競技大会等

事業名	実　施　日	内　　容	参加者（人）
丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会	１２月１日	グラウンドゴルフ愛好者による大会	１３４
	令和３年３月４日		１０７
平日グラウンドゴルフ	通年　平日	グラウンドゴルフ愛好者による利用	２，７６６

サークル教室活動

事業名	実　施　日	内　　容
スーパー竹とんぼ教室	毎月第４土曜　10:00～16:00	国際竹とんぼ協会兵庫本部の会員が、お子さんから大人まで指導
木彫サークル	毎月第３土曜　10:00～16:00	木彫り大好きの集いの場
バードカービング教室	毎月第1･3土曜　10:00～16:00	木彫りの野鳥を作ります。
絵画教室　学美隊	毎月第2･4土曜 小学生 9:30～11:30 中・高校生・一般 13:00～16:30	子供は主に鉛筆、色鉛筆、クレヨン、水彩、墨汁、ポスターカラーでの絵画指導です。大人は水彩画が中心です。
絵画サークル	毎月第1･3木曜10：00～16：00	絵を描くことが大好きな仲間のサークル
日本画教室	毎月第１・２・４ 火曜13：30～16：30	水彩画・はがき絵から日本画まで初心者から。
パープル【絵画】	毎月第２土曜　10:00～16:00	絵画が好きな仲間のサークル
絵手紙教室	第２水曜　10:00～16:00	和紙に書く絵手紙教室

丹波年輪の里運営協議会運営委員及び関係者名簿

令和３年３月３１日現在

	氏　　名	職　　名	
１．運営委員（敬称略）			
会 長	角　野　幸　博	丹波の森公苑　公苑長	
会長代理	林　　時　彦	丹波市長	
委 員	飯　塚　功　一	丹波県民局長	
委 員	足　立　光　敏	丹波市木材林産協同組合理事長	
委 員	高　見　　豊	（有）ウッドワーク丹波顧問	
委 員	大　木　玲　子	丹波市商工会事務局長	
委 員	柳　川　拓　三	丹波市観光協会会長	
委 員	藤　井　洋　一	神戸新聞社　丹波総局長	
委 員	岸　田　隆　博	丹波市教育長	
委 員	小　畠　崇　史	丹波市市民活動課課長	
委 員	小　森　真　一	ひょうごＣＳＲクラブ丹波支部長	
２．県関係者			
	津　吉　一　弥	兵庫県産業労働部労政福祉課長	
	谷　口　俊　明	兵庫県農政環境部林務課長	
３．（公財）兵庫丹波の森協会　　丹波年輪の里			
	芦　田　　茂	(公財)兵庫丹波の森協会常務理事	
	小　西　重　正	丹波年輪の里館長	
	村　上　佳　邦	部長兼管理課長	
	津　瀬　雅　之	林産指導課専門員	

沿革

丹波年輪の里の設置

１　設置目的

　木とのふれあいの中で、勤労青少年の文化活動、スポーツ活動およびレクリエーション活動を促進し、あわせて勤労者をはじめ広く県民に憩いの広場を提供するとともに、林産振興に寄与することを目的とする。

２　沿革

昭和６３年　４月　　丹波年輪の里竣工式典を挙行
　　４月　　常陸宮ご夫妻ご来苑
　　４月１７日～１１月６日
　　「２１世紀をになう青少年祭」開催
　　※ホロンピア’８８「北摂丹波の祭典」のイベントとして開催
　　４月　　ウイーン市公園局長パウエル・シーラー氏来苑
　　８月　　入苑者１０万人達成
　　１０月　　「第１回全国ウッドクラフト公募展」開催
　　※第３回国民文化祭ひょうご’８８の事業として開催
　　※現在も継続して開催
平成　元年１０月　　旧ソ連ハバロフスク地方友好代表団来苑　「子供娯楽園」を寄贈
　　１２月　　「子供娯楽園」完成
平成　２年　８月　　子どもクラフトデーの開催
平成　３年１０月　　旧ソ連ハバロフスク地方友好代表団来苑
平成　４年　３月　　ソーラー時計完成
　　５月　　開苑５周年記念　ツインツリーの植樹（クロガネモチ）
　　９月　　「第１回クラフトフェスティバル IN たんば’９２」開催
　　※平成７年「アート・クラフトフェスティバル IN たんば」に改称
　　※現在も継続して開催
　　１０月　　入苑者１００万人を突破
平成　５年　４月　　アトリエ１０２－３展
　　１１月　　森林文化祭国民会議等参加者来苑（ウイーン１３区　ハインツ・ゲルトバッハ区長ほか２０人）
平成　６年　３月　　全国竹とんぼ競技大会ｉｎたんば開催
平成　８年　８月　　全国産直住宅展開催
平成　９年　５月　　入苑者２００万人を突破
　　１０月　　開苑１０周年記念　第１０回全国ウッドクラフト公募展開催
　　同　記念巡回展開催　１１月東京会場　　１２月神戸会場
　　１月愛知春日井会場　１月丹波の森公苑
平成１０年　５月　　第１回　木木市（もくもくいち）開催
　　※現在も継続して開催
平成１１年　７月　　第１回　コパ・カイバラ少年サッカー大会開催
　　※現在も継続して開催

平成１１年１１月　ひょうご勤労者Ｖネット丹波コーディネートセンター設置（事務所）
※平成１４年３月閉鎖
平成１２年　６月　CSR 丹波支部事務所再設置
平成１３年　３月　ざいもくやさんのフェスティバル開催
８月　入苑者３００万人 を突破
平成１４年　４月　開苑１５周年・春のフェスティバル開催
平成１５年　８月　第１０回記念　竹とんぼ競技大会開催
平成１６年　７月　イベント広場照明設備の改修
平成１７年　３月　「子ども娯楽園」の解体撤去
４月　「ハバロフスクの館」開館（アトリエＢ棟改修）
１１月　入苑者４００万人を突破
平成１８年　４月　芝生広場　グラウンドゴルフ開業（水、木、金曜の平日のみ）
１１月　第１回丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会開催
※現在も継続して開催
平成１９年１２月　丹波の森ウッドクラフト展　第２０回記念
特別展「恐竜の世界（集まれ丹波恐竜）」開催
平成２１年　４月　指定管理者（財）兵庫丹波の森協会に移管
平成２２年　６月　入苑者５００万人を突破
平成２３年　５月３日～５日
ゴールデンウィークフェスタ開催
※現在も継続して開催
丹波木づくり手づくり市開催
※平成 27 年ウッドワーカーズクラフトに改称
※現在も継続して開催
平成２４年　４月　公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波年輪の里指定管理者となる。
（～平成２６年度）
４月　第１回　座っ展―丹波でうまれた木の椅子―開催
※現在も継続して開催
５月　第１回　大丹波木づくり市手づくり市開催
平成２７年　３月　大改修整備工事実施完了
クラフト館外壁大壁を改修、照明 LED 化、空調設備更新、工作機械自動鉋盤、
手押し鉋盤更新、木の館消防非常用ポンプ更新、レストラン棟前池整備
平成２７年　４月　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。
（～平成２９年度）
平成２８年　７月　入苑者６００万人を突破
平成３０年２月３日～１８日
第１回こころを届けるたんば絵てがみコンクール開催
平成３０年　４月　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。
（～令和２年度）

施設の概要

丹波年輪の里の概要

（1）建物の内訳

名　　称	建築面積（㎡）	内　　容
クラフト館	５２４．８８	工作室Ａ・工作室Ｂ・木工機械室・研修室Ｂ・図書室・休養室・館長室・業務課・受付
木の館	６５４．４８	研修室Ａ・会議室・多目的ホール・図書資料室・管理課・林産指導課事務室・倉庫
アトリエＡ	１棟 ６４．８０	２棟 ２階建　１階　洋室３２㎡・１６㎡　２階　和室２０㎡
アトリエＢ		
ＣＳＲ事務所	３８．８８	ＣＳＲ　丹波支部　事務室
旧ハバロフスク館	３８．８８	利用方法検討中
レストラン	２１９．５１	約６０席　・営業は業者：喫茶軽食　９時～２１時

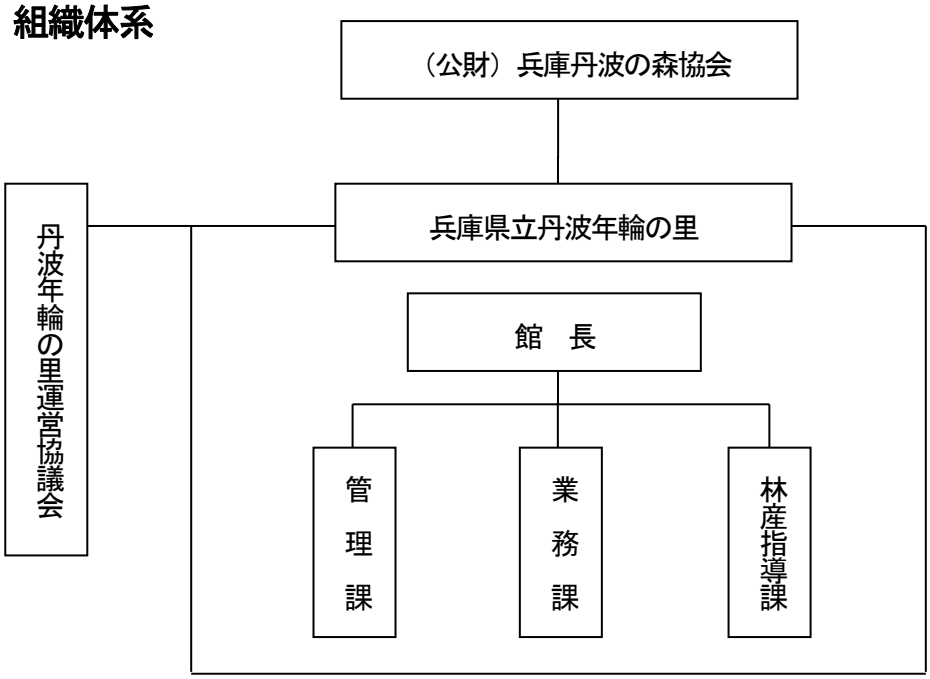
（2）屋外施設

イベント広場	夜間照明設備（照明度平均２００ルクス）約８０ｍ×約８０ｍ
クラフト広場	屋外作業用工作台４台
わんぱく広場	砂場約２０㎡、芝生広場、休憩棟１棟、空中回廊・すべり台等
芝生広場	約１００００㎡の芝生広場とその中央に小川と修景池がある。
丹波県民の森	丹波地域旧１０町の町木（松、ケヤキ、栗、クヌギ、コナラ）などを植栽した森
駐車場	大型バス７台・普通車１３５台・身障用５台

「丹波年輪の里」クラフト創造遊苑

組織と職員

（１）組織体系



（令和３年３月３１日現在）

（２）職　員

役　　職	氏　　名
館　長	小　西　重　正
部長兼管理課長	村　上　佳　邦
管理課	蘆　田　玉　代
同上	伊　福　嘉　彦
同上	足　立　文　代
同上	長　澤　光　一
同上	山　内　茂　弘
業務課長	館　長　兼　務
業務課工作指導員	西　　禎　恒
同上	小　泉　　匡
同上	大　森　　恵
業務課	土　田　陽　子
同上	新　地　佳代子
林産指導課課長	館　長　兼　務
林産指導専門員	津　瀬　雅　之
林産指導事務員	吉　田　武　史

ささやまの森公園

・活動･施設利用一覧

・運営協議会の開催状況

・運営協議会運営委員名簿

・機能

・沿革

・施設の概要

・組織と職員

活動・施設利用一覧

ささやまの森公園

令和２年４月１日～令和３年３月３１日

月　日	主　な　事　項	利用人数
平成２年４月		
１５日～３０日	臨時休園	
５月		
１日～１７日	臨時休園	
２３日	自然学習班会議	２
３０日	里山復元班、レクリェーション班会議	６
６月		
６日	あらし班活動日	７
１０日	篠山東雲高校里山文化授業	１３
１７日	篠山東雲高校里山文化授業	１３
２４日	丹波篠山市立岡野幼稚園園内散策	１１
	篠山東雲高校里山文化授業	１５
７月		
１日	篠山東雲高校里山文化授業	１３
１８日	里山体験・里山伝承班会議	５
１９日	レクリェーション班・里山復元班・自然学習班会議	９
２２日	篠山東雲高校里山文化授業	１３
２８日	富山こども園遠足	２０
	丹波篠山市立篠山幼稚園	５
２９日	篠山東雲高校里山文化授業	１３
	富山こども園遠足	２４
８月		
２日	プログラム「セミのぬけがらを探そう」	１０
	活動スタッフリーダー会	７
５日	あらし班活動日	５
８日	プログラム「ささやまの森探検隊～知られざる源流地帯をゆく～」	１８
９日	プログラム「水辺の生きものを探そう」	１１
１０日	プログラム「水辺の生きものを探そう」	１０
１８日	自然再発見の会活動日	１
１９日	草木染同好会活動日	２
２０日	マツタケ施業班活動日	２
２２日	プログラム「草木で染めよう～藍の生葉～パート①」	９
	プログラム「草木で染めよう～藍の生葉～パート②」	１０
２９日	プログラム「そば道場シリーズ～種まき～」	１３

月	日	主な事項	利用人数
８月			
	２９日	歴史文化ツーリズム研究会竹工作	１５
	３０日	プログラム「アマゴのつかみ取りをしょう」	１８
９月			
	１日	自然再発見の会活動日	２
	２日	篠山東雲高校里山文化授業	１３
	５日	森の学校	８
	６日	プログラム「囲炉裏テーブルを作ろう」	１０
	９日	篠山東雲高校里山文化授業	１３
	１３日	歴史文化ツーリズム研究会	１５
	１５日	自然再発見の会活動日	１
	１６日	篠山東雲高校里山文化授業	１３
		草木染同好会活動日	４
	１７日	マツタケ施業班活動日	３
	１８日	プログラム「草木で染めよう～クルミ～」	８
	１９日	プログラム「草木で染めよう～クルミ～」	７
	２０日	プログラム「ロケットストーブを作ろう」	８
	２６日	プログラム「陶芸を楽しもう」	１０
	２７日	ミニガーデン制作	３
	２９日	ミニガーデン制作	１
	３０日	ミニガーデン制作	２
		篠山東雲高校里山文化授業	１６
１０月			
	１日	ミニガーデン制作	３
	２日	ミニガーデン制作	３
	３日	森の学校	９
	４日	プログラム「親子で楽しむ紙工作」	１０
		あらし班活動日	５
	６日	自然再発見の会活動日	１
	７日	篠山東雲高校里山文化授業	１２
		篠山中学校社会体験事業	１０
	９日	篠山東中学校社会体験事業	４
	１０日	自然学習班・レクリェーション班会議	３
	１１日	プログラム「丸太のベンチ作り」	１０
		里山復元班会議	１
	１４日	篠山中学校社会体験事業	１０
	１５日	篠山中学校社会体験事業	１２
		マツタケ施業班活動日	３
	１６日	プログラム「第１回　草木で染めよう～コブナグサ～」	８
	１７日	プログラム「第２回　草木で染めよう～コブナグサ～」	７
	１８日	プログラム「スギ玉を作ろう第１回～屋根と竹かご作り～」	１１
	２０日	豊中市立庄内西小学校木工クラフト体験	４２

月	日	主な事項	利用人数
１０月			
	２０日	さわらび会園内散策	８
	２１日	丹波篠山市立多紀小学校木工クラフト体験	４３
		草木染め同好会活動日	５
	２４日	プログラム「黒枝豆を収穫しょう」	２３
		篠山自然の会登山	１３
	２５日	プログラム「スギ玉を作ろう第２回～スギ玉作り～」	９
	２９日	マツタケ施業班活動日	２
	３１日	プログラム「そば道場シリーズ第２回～刈取～」	１４
１１月			
	１日	稲刈り	１
		マツタケ施業班活動日	２
	４日	篠山東雲高校里山文化授業	１２
	５日	マツタケ施業班活動日	２
	８日	活動スタッフリーダー会	３
	１２日	マツタケ施業班活動日	２
	１４日	プログラム「秋の登山～黄葉の深山に登ろう」	１１
		森の学校	１１
	１８日	篠山東雲高校里山文化授業	１３
		草木染め同好会活動日	２
	２３日	プログラム「みつろうでロウソクを作ろうパート①」	９
		プログラム「みつろうでロウソクを作ろうパート②」	８
	２５日	篠山東雲高校里山文化授業	１３
	２８日	プログラム「そば道場シリーズ第３回～脱穀～」	１４
	２９日	プログラム「シイタケづくり～原木の伐採～」	１０
１２月			
	２日	篠山東雲高校里山文化授業	１２
	３日	動物オブジェ作り	１
	５日	森の学校	８
	６日	プログラム「森の時計作り」	８
	８日	丹波篠山市立城北畑小学校木工クラフト体験	２８
	１０日	動物オブジェ作り	１
	１２日	プログラム「しめ縄を作ろう」	１０
	１８日	動物のオブジェ作り	１
	２０日	プログラム「ミニ門松作り」	９
	２４日	動物のオブジェ作り	１
	２５日	正月飾り作り	５
		あらし班活動日	５
	２６日	プログラム「バードウォッチング」	１２
		自然学習班会議	３

月　日	主　な　事　項	利用人数
令和３年１月		
９日	森の学校	７
１１日	とんど	２
	レクリェーション班、里山復元班会議	５
１３日	篠山東雲高校里山文化授業	１２
１７日	プログラム「こんにゃくを作ろう」	６
	里山体験・里山伝承班会議	３
２０日	篠山東雲高校里山文化授業	１２
２月		
６日	森の学校	７
７日	活動スタッフリーダー会	８
１４日	プログラム「チェンソー安全教室」	６
	プログラム「冬の生きもの探し」	１２
２１日	プログラム「竹でスピーカーを作ろう」	６
２４日	あらし班活動日	５
２７日	プログラム「黒豆のお味噌を作ろう」	１０
２８日	プログラム「黒豆のお味噌を作ろう」	１０
３月		
６日	森の学校	８
７日	プログラム「シイタケづくり～植菌～」	１０
	プログラム「早春の生きもの探し」	１１
	関西国際大学歴史文化ツーリズム研究会	１５
１３日	関西国際大学歴史文化ツーリズム研究会	２０
１４日	プログラム「くん製器を作ろう」	５
１９日	プログラム「草木で染めよう～サクラ～パート①」	８
２０日	プログラム「草木で染めよう～サクラ～パート②」	７
２１日	プログラム「布ぞうりを作ろう」	８
２５日	ささやまの森公園運営協議会総会	１２
２７日	あらし班活動日	５

ささやまの森公園運営協議会の開催状況

運営協議会の開催状況

区　分	開 催 日	開　催　地	出席者数	協　　議　　事　　項
第１回	令和３年 ３月２５日	ささやまの森公園		令和２年度事業報告及び令和３年度事業計画について

ささやまの森公園運営協議会委員名簿

令和３年３月３１日現在

	氏　名	職　名　・　所　属　等
顧問	河合　雅雄	兵庫県立人と自然の博物館名誉館長、丹波の森公苑名誉公苑長
会長	樋口　清一	兵庫県生物学会副会長、兵庫県自然保護指導員、元ささやまの森公園長
副会長	田井　彰人	活動スタッフリーダー
副会長	新藤　力	地元福住地区自治会長会会長
	鈴木　武	兵庫県立大学講師、兵庫県立人と自然の博物館研究員
	前川　修哉	丹波篠山市教育長
	梶村　徳全	兵庫県立丹波並木道中央公園管理事務所長
	岸部　健司	兵庫県立篠山東雲高等学校長
	川﨑　直哉	丹波篠山市立岡野小学校教諭
	遠山　昌平	地元大字福住地区総代
	杉田　和博	地元川原地区自治会長
	谷口　次男	篠山自然の会
	金川　文雄	丹波自然友の会
	脇塚　陸	ひょうご森のインストラクター
	杉田　弘治	地元活動協力者
	森田　悟	地元活動協力者
	岡田　照代	活動スタッフリーダー

機能

体験プログラム・イベントのご案内

丹波篠山は、自然豊かな森に囲まれています。里人たちは「里山」と呼ばれる森を利用して生活してきました。農家の裏山にあたる里山は、村人たちが長い間暮らしと共に育んできたすばらしい環境です。美しい水と森に育まれ、草花や動物たちが生息し、四季それぞれの表情を見せています。身近な動物やホタル、カブトムシなど子供達の大好きな昆虫、春・秋の七草をはじめ、街で見かけなくなった生き物とも出会うことができます。ささやまの森公園は暮らしと共に育んできた里山環境をみんなで理解し、山の幸を味わい、里山文化を伝承し、森の環境そのものを皆で楽しみながら、人と共生できる自然の営みや私達の暮らしのあり方を考える場として整備しています。ボランティアの活動スタッフとともに多彩なプログラムやイベントを展開し、世代や地域を越えた交流を通して、豊かな丹波の里山づくりを目指しています。

■基本プログラム

里　山　体　験	草木染め、みつろうでロウソクを作ろう、しめ縄を作ろう、布ぞうりを作ろう　他
里　山　伝　承	黒豆を収穫しょう、そば道場シリーズ、こんにゃくを作ろう、黒豆のお味噌を作ろう他
自　然　学　習	バードウォッチング、セミのぬけがらを探そう、水辺の生きものを探そう、秋の花と実を楽しもう、冬の生きもの探し、早春の生きもの探し　他
レクリエーション	秋の深山登山、ささやまの森探検隊、アマゴのつかみ取りをしよう、親子で楽しむ紙工作、竹でスピーカーを作ろう、くん製器を作ろう　他
里　山　復　元	丸太のベンチ作り、陶芸を楽しもう、囲炉裏テーブルを作ろう、ロケットストーブを作ろう、スギ玉を作ろう、シイタケづくり、森の時計作り、ミニ門松作り、チェンソー安全教室　他

■団体プログラム

プログラムは原則として土曜・日曜・祝日に実施しますが、団体の申し込みには、平日でも希望のプログラムを組み実施しています。

■学校向けプログラム

「総合的な学習の時間」の展開に適したプログラムを約２０種類用意し、要望に応じています。

■森の学校

小学３年生から６年生の児童を対象にした里山体験プログラムを年間１０回体験します。

■イベント

春・秋の里山まつり、里山コンサート、里山落語などのイベントを実施しています。

沿革

ささやまの森公園の設置

１　設置の趣旨

兵庫県では法人県民税の超過課税の財源を基に「自然活用型野外ＣＳＲ事業」（文化 Culture/スポーツ Sports/レクリエーション Recreation）を実施しています。

「丹波の森構想」の理念のもとに、自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を保全育成することを目的とします。住民の参画と実践により都市住民との交流、異世代間の交流、里山の保全利用を目標にしたプログラムを展開し、グリーンツーリズムの場として県民に自然との触れ合いの場を提供し、生活をより豊かにする里山・森づくりを推進します。

２　沿　革

・平成１４年　４月　１日　　兵庫県と丹波の森協会が実施委託契約
・平成１４年　４月　４日　　活動拠点施設開所式
・平成１４年　７月　６日　　ログ小屋完成
・平成１４年　７月２１日　　開園式典
・平成１５年　５月１７日　　杣小屋完成
・平成１６年　３月３１日　　１０号作業道・１２号歩道（木の実の散策路）完成
・平成１６年　６月　１日　　竹の館完成
・平成１７年　３月３１日　　１３号歩道・１４号歩道・１５号歩道（湖上の散策路）完成
・平成１８年　３月３１日　　１６号作業道（エビズエの散策路）・東屋（雑木林の散策路頂上）・藤棚（水辺の広場）・臨時駐車場完成
・平成１８年　４月　１日　　篠山市から、財団法人兵庫丹波の森協会が管理運営を受託
・平成１８年１０月　８日　　森守の小屋完成
・平成１９年　４月１５日　　開園５周年記念式典
・平成１９年　４月１５日　　万兎の森第１期工事完成
・平成１９年１１月１０日　　炭焼き小屋と杣小屋の屋根延長工事完成
・平成２０年　３月１５日　　万兎の森第２期工事完成
・平成２０年１１月２３日　　レンガ窯「ささもり窯」の完成
・平成２０年１１月２６日　　野鳥観察小屋完成
・平成２１年　３月１０日　　万兎の野草園造成
・平成２２年　３月　６日　　野鳥の森第１期植樹完成
・平成２３年　３月２４日　　木材乾燥小屋「木の館」完成
・平成２３年１１月１８日　　ささもり窯作業場完成
・平成２４年　４月　１日　　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。（平成２４年度～平成２６年度）
・平成２４年　４月１５日　　開園１０周年記念式典
・平成２４年１２月　１日　　来園者２０万人達成記念
・平成２４年１２月　１日　　森の遊び場オープン
・平成２６年　６月２６日　　ささもりのステージ完成
・平成２６年１０月３１日　　水車小屋完成

・平成２７年　４月　１日　　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
（平成２７年度～平成２９年度）
・平成２７年　５月３１日　　バーベキュー広場完成
・平成２８年１０月１５日　　森の迷路完成
・平成２９年　４月　９日　　開園１５周年記念式典
・平成３０年　４月　１日　　公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
（平成３０年度～令和２年度）
・平成３０年１１月１１日　　来園者３０万人達成記念
・令和 元 年１０月１２日　　コカ・コーラ　ボトラーズジャパン株式会社による「水源の森たんばささやま」の活動はじまる
・令和 ２ 年　３月２１日　　ささもりのステージ改築工事完成
・令和 ２ 年　６月　４日　　たいこ橋改修工事完成
・令和 ２ 年　８月３０日　　散策路（こもれびの園地下）災害復旧工事完成
・令和 ３ 年　３月　８日　　ホームページリニューアル及びスマホ対応化完成
・令和 ３ 年　３月１１日　　木柵（ハンノキ林周辺）修繕工事完成
・令和 ３ 年　３月１９日　　階段（東屋上）改修工事完成
・令和 ３ 年　３月２２日　　浄化槽設置工事完成

施設の概要

ささやまの森公園の概要

活動拠点施設がある谷を中心に両側の尾根までを「ささやまの森公園」の範囲としています。その中には、兵庫県所有地と借地を含んでおり、面積は２５５ha におよび、人工林３０％自然林７０％が広がります。

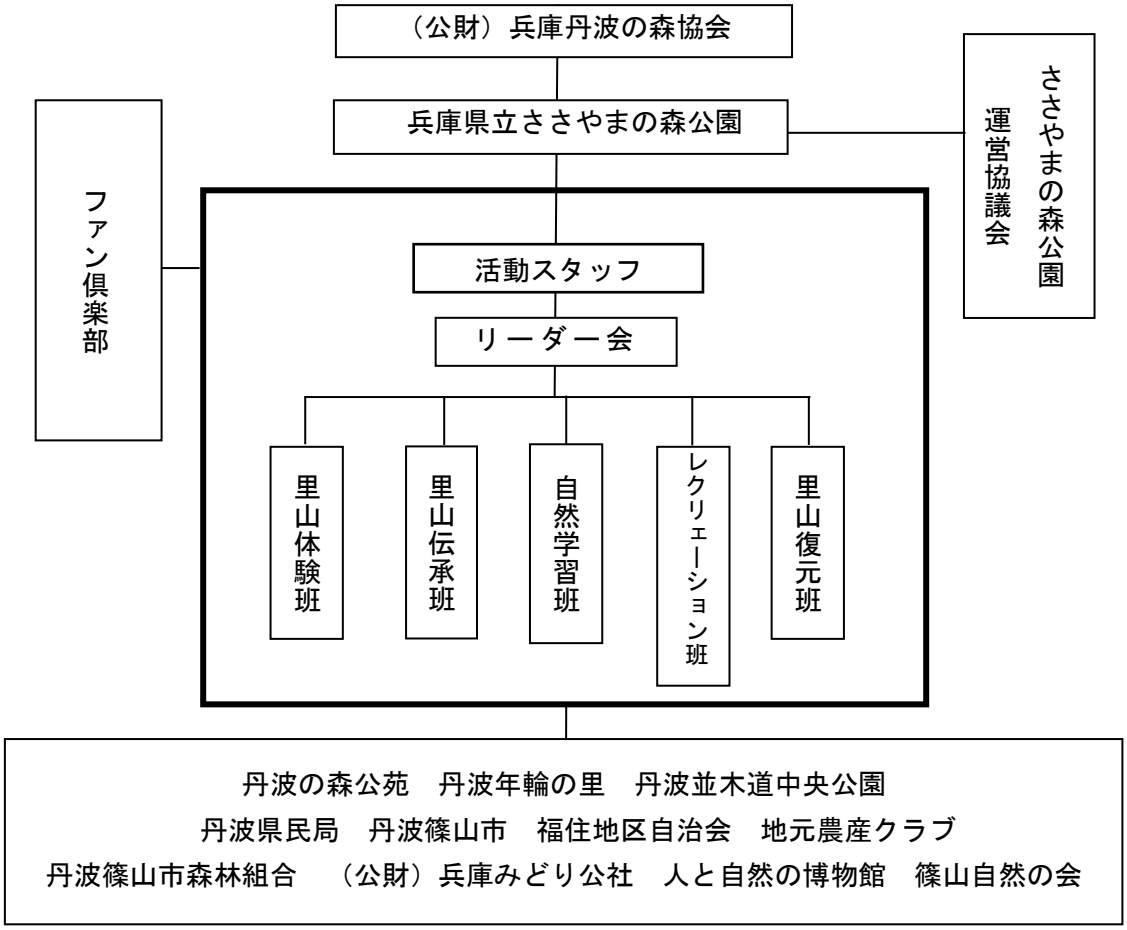
なお、平成１４年７月開園から令和２年度末までの利用者数累計は３３７，３１９人です。

名称	内容
活動拠点施設	事務局・森の道場・和室・倉庫・台所・トイレ・手押しポンプ
森守の小屋	活動スタッフの研修・集会・休憩場所として活動スタッフの手で建築
ログ小屋	作業車の格納庫として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
竹の館	木工材料の乾燥・保管場所（４×１０ｍ）活動スタッフが間伐材を利用して建築
炭焼き窯	直径 1.8m の本格的な炭焼き窯
杣小屋	木工細工所として、活動スタッフの手で建築
ささもり窯	丹波焼きの技術を取り入れた窯で、パン・ピザも焼くことができる設計にした
木の館	木材乾燥小屋として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
野鳥観察小屋	雑木林の中に野鳥が観察できる小屋（１６㎡ ）が完成
ビオトープ池	トンボや水生生物などが集まり、自然観察ができる場
クリ林の園地	クリ林の中での活動、交流など集いの拠点
万兎の森	昆虫や鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹・造成
万兎の野草園	石庭形式の中に、公園内の野草を集め観察できる庭を完成
水辺の広場	渓流の傍に芝生の広場が広がり、木陰・石ベンチがあり子どもの遊び場
野鳥の森	鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹
こもれびの園地	コナラ林の明るい散開林に東屋があり、ネイチャーゲームや野鳥観察ができる
森の遊び場	ヒノキ林の中にある森の迷路の遊び場
モリアオガエルの池	季節にはモリアオガエルが産卵する池で、説明板や観察台を設置
果樹園	農家の庭先に植えてあるような果樹を栽培
散策路	湖岸の散策路・アカマツ林の散策路・雑木林の散策路・黄葉樹の散策路・木の実の散策路・さえずりの散策路、湖上の散策路等全長１２．６４０ｋｍ整備
ハイキング道	尾根に全長１０ｋｍのハイキングコースを活動スタッフの手で開拓・整備
ささもりのステージ	森の中のステージで演奏会などの利用ができる
水車小屋	「コットン、コットン」の音とともに昔の里山風景をつくっている
駐車場	施設前駐車場（５０台）・ダム西駐車場（５０台）・ダム東駐車場（３０台）

組織と職員

令和３年３月３１日　現在

（１）組織体系



■ファン倶楽部：運営を支援するための年会費制応募者。
■活動スタッフ：プログラムの企画・実施や、ささやまの森公園で里山活動を行う。

（２）職　員

担　　当	氏　　名
公園長兼管理課長	花　村　　諭
経　理　担　当	藤　原　一　美
森づくり担当	藤　井　満　成
プログラム担当	長　井　吉　広
総　務　担　当	松　本　真理子
総　務　担　当	大　西　和　之

丹波並木道中央公園

・活動一覧

・施設利用一覧

・森の円卓会議の開催状況及び委員名簿

・施設の概要・沿革

・組織と職員

活動一覧

丹波並木道中央公園

令和２年４月１日～令和３年３月３１日

月　日	主　な　事　項	参加者
令和２年４月		
	レンタサイクル	48
６月		
	レンタサイクル	32
6日	大人の木工教室	3
8日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
12日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
15日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
19日	花と緑の教室	16
20日	大人の木工教室	2
21日	ノルディックウオーキング	6
22日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	6
29日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
７月		
	レンタサイクル	21
4日	大人の木工教室	4
5日	七夕カフェ	8
6日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
10日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
13日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
16日	ジャガイモ掘り体験（住友ゴム）	13
18日	大人の木工教室	3
19日	ノルディックウォーキング	4
20日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
23日	丹波篠山茶で和紅茶をつくろう	5
26日	化石発掘体験	20
27日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
29日	こころと体の癒し講座(第1回)	6
８月		
	レンタサイクル	36
1日	大人の木工教室	4
	木片スタンプで使ったあんどんづくり	6
2日	フラワーアレンジ(ミニガーデン)	9
3日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
4日	森の円卓会議	16
15日	こどもクラフト	6
	大人の木工教室	3
16日	ノルディックウォーキング	4
17日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
19日	こころと体の癒し講座(第2回)	4
22日	化石発掘体験	20
24日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
28日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
31日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3

月　日	主　な　事　項	参加者
９月		
	レンタサイクル	53
2日	棚田草引き＆かかし立て	49
5日	大人の木工教室	4
7日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
11日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
14日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	6
16日	こころと体の癒し講座	6
18日	花と緑の教室	10
19日	大人の木工教室	4
20日	ノルディックウォーキング	9
21日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
25日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
28日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
１０月		
3日	大人の木工教室	4
5日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
6日	西紀南小学校	33
9日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
12日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
16日	花と緑の教室	12
18日	ノルディックウオーキング	15
	黒枝豆収穫体験	7
19日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
21日	丹波市・丹波篠山市中学校駅伝大会	220
23日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
24日	赤米の稲かり体験	7
26日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	6
27日	赤米の稲かり体験（こども園）	42
28日	丹有地区中学校駅伝大会	450
１１月		
1日	ふるさとグランツール兵庫丹波	110
7日	ミニ駅伝大会	165
	大人の木工教室	4
	野鳥観察会	12
8日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
13日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	2
14日	木工クラフト「森のくるま」	6
15日	ノルディックウオーキング	11
	化石発掘体験	16
16日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
21日	大人の木工教室	4
	こどもクラフト	6
22日	プリザーブドフラワーアレンジメント「クリスマスアレンジ」	9
23日	ツリーイング体験	10
27日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
	花と緑の教室	11
28日	かやぶき民家屋根葺き替え工事見学会	52
29日	冬のはじまり茶会	8
30日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
１２月		
4日	トライやるウィーク代替事業（西紀中学校）	4
5日	大人の木工教室	4
	こどもクラフト（団体予約）	5

月　日	主　な　事　項	参加者
１２月		
7日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
11日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	2
14日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
18日	花と緑の教室	11
	来園者150万人記念セレモニー	0
19日	大人の木工教室	4
	ミニ門松づくり	15
	ミニ門松づくり	4
	ミニ門松づくり	3
20日	ノルディックウオーキング	4
21日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
25日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	2
27日	フラワーアレンジ(（お正月アレンジ)	9
令和３年１月		
8日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	2
10日	凧づくり	9
11日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
16日	大人の木工教室	4
17日	ノルディックウォーキング	5
18日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
23日	里山スクール	15
24日	里山スクール	15
29日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
31日	里山スクール	15
２月		
1日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
6日	丹波の冬仕事「寒茶づくり」	9
	大人の木工教室	3
8日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
12日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
20日	大人の木工教室	4
21日	ノルディックウォーキング	14
22日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
26日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
３月		
1日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
6日	大人の木工教室	4
8日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3
13日	こどもクラフト	4
15日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	5
17日	こころと体の癒し講座「満開の桜」を描こう	8
19日	花と緑の教室	11
20日	大人の木工教室	4
22日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
26日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	4
28日	プリザーブドフラワー「ミニスワッグの壁飾り」	7
29日	木工サポーター(間伐材で公園づくり)	3

施設利用一覧

丹波並木道中央公園

令和２年４月１日～令和３年３月３１日

実施等	団体名	活動内容	参加者数
4月2日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
4月6日	第10福寿会	グランドゴルフ	6
4月6日	新婦人の会	絵手紙教室	5
4月7日	第10福寿会	グランドゴルフ	6
4月9日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
4月9日	にし木会	グランドゴルフ	5
4月10日	蔵の会	グランドゴルフ	6
6月1日	蔵の会	グランドゴルフ	10
6月1日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	5
6月2日	第10福寿会	グランドゴルフ	16
6月4日	蔵の会	グランドゴルフ	7
6月4日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	3
6月8日	蔵の会	グランドゴルフ	5
6月8日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	5
6月9日	丹波彫刻会	彫刻教室	12
6月9日	第10福寿会	グランドゴルフ	5
6月11日	にし木会	グランドゴルフ	5
7月2日	蔵の会	グランドゴルフ	4
7月2日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	1
7月6日	新婦人の会	絵手紙教室	5
7月6日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
7月7日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
7月9日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	3
7月13日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
7月14日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
7月16日	住友ゴム	植樹活動	31
7月16日	蔵の会	グランドゴルフ	5
7月16日	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会	会議	5
7月18日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
7月18日	楽らく美香草	会議	3
7月27日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	3
7月27日	蔵の会	グランドゴルフ	6
7月28日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
7月28日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
7月30日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
7月30日	蔵の会	グランドゴルフ	6
8月3日	蔵の会	グランドゴルフ	4
8月3日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	5
8月4日	第10福寿会	グランドゴルフ	6
8月4日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
8月4日	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会	会議	6
8月6日	蔵の会	グランドゴルフ	6
8月6日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	6

実施等	団体名	活動内容	参加者数
8月14日	蔵の会	グランドゴルフ	4
8月17日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	7
8月17日	蔵の会	グランドゴルフ	5
8月20日	蔵の会	グランドゴルフ	5
8月24日	蔵の会	グランドゴルフ	5
8月24日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	5
8月25日	第10福寿会	グランドゴルフ	8
8月25日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
8月27日	にし木会	グランドゴルフ	9
8月27日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
9月3日	蔵の会	グランドゴルフ	6
9月3日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	6
9月7日	蔵の会	グランドゴルフ	5
9月7日	新婦人の会	絵手紙教室	8
9月8日	第10福寿会	グランドゴルフ	8
9月8日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	6
9月8日	丹波彫刻会	彫刻教室	9
9月10日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	8
9月10日	にし木会	グランドゴルフ	6
10月1日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
10月1日	蔵の会	グランドゴルフ	5
10月1日	ささやまの森公園	丹波の森ミニガーデン作庭	5
10月2日	ささやまの森公園	丹波の森ミニガーデン作庭	5
10月5日	蔵の会	グランドゴルフ	6
10月5日	新婦人の会	絵手紙教室	5
10月6日	丹波彫刻会	彫刻教室	9
10月6日	第10福寿会	グランドゴルフ	12
10月8日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
10月9日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
10月12日	蔵の会	グランドゴルフ	6
10月12日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	7
10月13日	第10福寿会	グランドゴルフ	7
10月13日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
10月13日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
10月14日	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会	会議	10
10月15日	蔵の会	グランドゴルフ	5
10月19日	蔵の会	グランドゴルフ	4
10月19日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	3
10月20日	第10福寿会	グランドゴルフ	10
10月22日	にし木会	グランドゴルフ	11
10月22日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	5
10月26日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
10月27日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
10月28日	蔵の会	グランドゴルフ	5
10月28日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
10月30日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	12
10月31日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	9
11月1日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	5
11月2日	新婦人の会	絵手紙教室	6
11月3日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	8

実施等	団体名	活動内容	参加者数
11月3日	ささやまの森公園	ミニガーデン撤収	3
11月4日	住友ゴム	植樹活動	4
11月4日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	9
11月5日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	6
11月5日	蔵の会	グランドゴルフ	5
11月6日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	7
11月7日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	4
11月8日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	5
11月10日	第10福寿会	グランドゴルフ	12
11月10日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
11月10日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	6
11月10日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
11月11日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	7
11月12日	人と自然の博物館	岩砕調査（県民参画）	7
11月12日	住友ゴム	植樹活動	5
11月12日	にし木会	グランドゴルフ	12
11月13日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	5
11月16日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	7
11月17日	丹波彫刻会	彫刻教室	6
12月1日	第10福寿会	グランドゴルフ	13
12月2日	住友ゴム	植樹活動	4
12月3日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
12月7日	新婦人の会	絵手紙教室	7
12月8日	第10福寿会	グランドゴルフ	7
12月8日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	3
12月8日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
12月9日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
12月10日	にし木会	グランドゴルフ	5
12月12日	丹波花くらぶ	会議	8
12月14日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	6
12月15日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
12月21日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	5
12月22日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	3
12月22日	丹波彫刻会	彫刻教室	9
令和3年1月6日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
1月7日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	3
1月11日	新婦人の会	絵手紙教室	4
1月12日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
1月12日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
1月13日	住友ゴム	植樹活動	4
1月15日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
1月18日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	6
1月19日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
1月21日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
1月25日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	7
1月26日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
1月26日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
2月1日	新婦人の会	絵手紙教室	5
2月4日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	2
2月8日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	5

実施等	団体名	活動内容	参加者数
2月22日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	6
3月1日	新婦人の会	絵手紙教室	4
3月2日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
3月8日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
3月9日	第10福寿会	グランドゴルフ	7
3月9日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
3月9日	丹波の森花くらぶ	会議	10
3月11日	にし木会	グランドゴルフ	6
3月15日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	3
3月16日	第10福寿会	グランドゴルフ	5
3月16日	丹波彫刻会	彫刻教室	6
3月22日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	3
3月23日	第10福寿会	グランドゴルフ	10
3月23日	丹波彫刻会	彫刻教室	9
3月24日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	3
3月25日	にし木会	グランドゴルフ	10
3月29日	並木道絵画倶楽部	水彩画教室	4
3月30日	第10福寿会	グランドゴルフ	8

丹波並木道中央公園森の円卓会議開催状況

森の円卓会議開催状況

区　　分	開　催　日	開　催　地	出席者数	協　　議　　事　　項
第１回	８月４日	丹波並木道中央公園管理事務所会議室	２１名	・令和元年度公園の取り組みについて（報告） ・令和２年度公園の主な取り組みについて（現状と予定）
第２回	令和３年 ２月１６日	丹波並木道中央公園かやぶき民家	２０名	・令和２年度の入園者数・コロナ対策・取組みについて（報告） ・令和３年度の取り組みについて（報告） ・「サイクルステーション」及び「動く恐竜模型」の整備について

丹波並木道中央公園 森の円卓会議名簿

令和３年３月３１日現在

職名	氏　名	職　名　・　所　属　等
委員長	角野　幸博	関西学院大学教授、丹波の森公苑長、丹波の森研究所所長
副委員長	杉尾　吉弘	株式会社　夢こんだ社長
副委員長	土性　里花	住民代表
委員	團野　廣美	大山郷づくり協議会　会長
委員	溝端　義男	味間地区まちづくり協議会　会長
委員	雪岡　健一	大山下自治会会長
委員	山本　光一	西古佐自治会会長
委員	谷口　次男	篠山自然の会　副代表
委員	池田　忠広	兵庫県立人と自然の博物館　研究員
委員	五明田　禎久	（公財）兵庫県園芸・公園協会　総務部長
委員	芦田　茂	（公財）兵庫丹波の森協会　常務理事
オブザーバー	西脇　誠	協同組合 丹波林産振興センター理事
オブザーバー	中澤　康夫	丹波篠山市左官技術研究会　会長
オブザーバー（行政）	西岡　遼河	兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課整備班
オブザーバー（行政）	廣田　宗朗	丹波県民局　丹波土木事務所　公園砂防課　課長
オブザーバー（行政）	時本　恭一	丹波県民局　丹波土木事務所　管理課　課長
オブザーバー（行政）	村上　由樹	丹波篠山市教育委員会 文化財課　課長

施設の概要・沿革

丹波並木道中央公園について

１　概要

丹波並木道中央公園は、「丹波の森構想」に基づく広域レクリエーション、都市と農村の交流及び地域活性化の拠点となる丹波地域初の広域公園です。

本公園を「丹波の夢ビジョン」で示されている「いのち（自然）、ひと（人間）、なりわい（産業）」の 3 つの「環」を育む拠点として、県民の参画と協働によって魅力的な森の空間を体感していただける公園です。

■所在地　　兵庫県丹波篠山市西古佐・大山下
■開園面積　70.9ha
■開園年月　平成 19 年 10 月 14 日
■種別　　広域公園
■休業日　　12 月 29 日～1 月 3 日
■主な施設

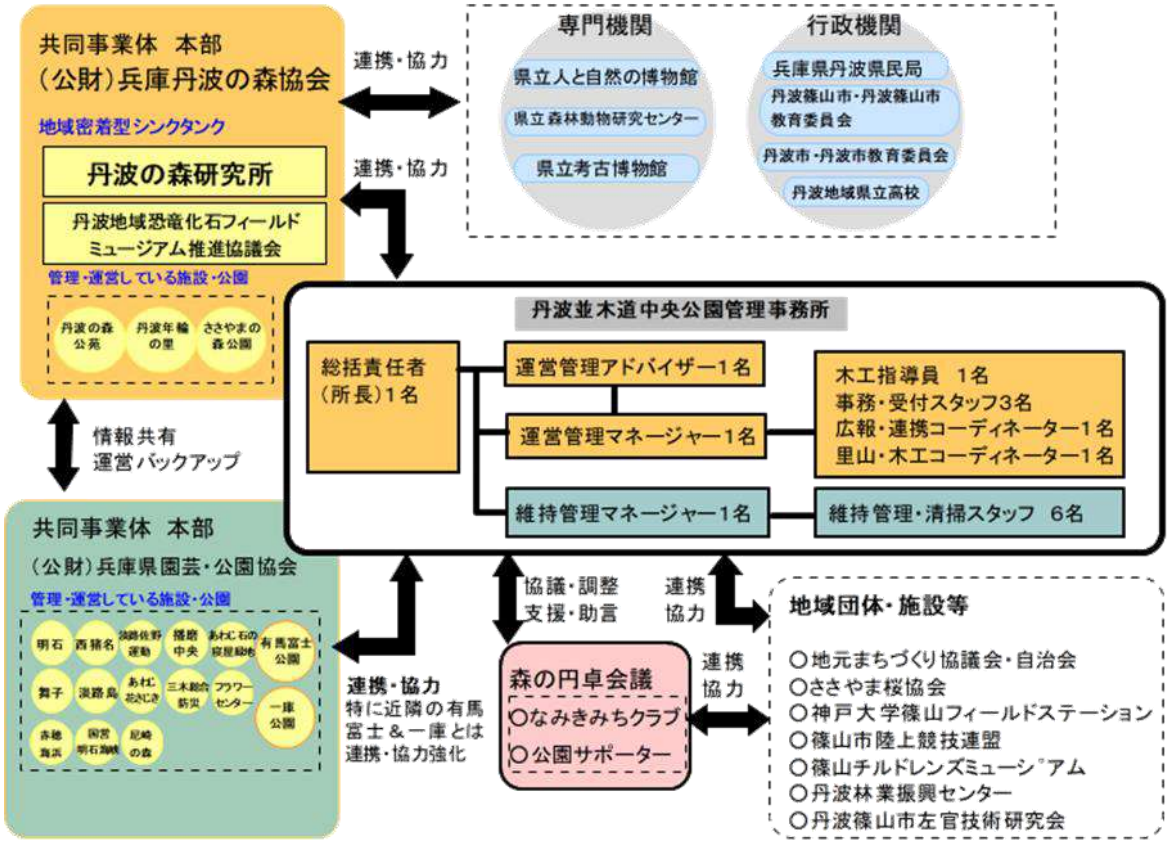
名　　称	内　　容
公園管理棟	事務所、会議室、トイレ（木造平屋建 279 ㎡）
かやぶき民家	畳部屋、かまど、トイレ（木造平屋建　242 ㎡）
森林活動センター	森林活動拠点（木造平屋建　374 ㎡）
駐車場	普通乗用車 110 台、バス 5 台、臨時駐車場 80 台
広場	芝生広場（4200 ㎡）、森の広場（9,400 ㎡）、お花見広場（1900 ㎡）、朝市広場（1200 ㎡）
棚田	棚田（2200 ㎡）、あおぞら広場（2500 ㎡）
育成展示林	生産林（5.1ha）、景観林（1.8ha）、活動林（2.6ha）、
植栽地等	高木　約 1000 本、中低木　約 7200 本
トイレ・休憩所	トイレ 4 棟、東屋 7 棟、展望テラス 1 基、パーゴラ 2 基
調整池	調整池 3 箇所、ため池 1 箇所
倉庫	木造平屋建　30 ㎡　2 棟
遊具等	遊具 1 基、木製散歩道 77m
森の聖域ゾーン	21.4ha

２　沿　革

・平成 19 年 10 月 14 日　公園開園
・平成 23 年　4 月　1 日　財団法人兵庫丹波の森協会が財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（平成 23 年度～平成 27 年度）
・平成 24 年 10 月 15 日　公園開園 5 周年
・平成 28 年　4 月　1 日　公益財団法人兵庫丹波の森協会が公益財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（平成 28 年度～令和 2 年度）
・平成 29 年 10 月 15 日　公園開園 10 周年

組織と職員

（１）組織体系



（２）業務分担表（兵庫丹波の森協会所属スタッフのみ）

令和３年３月３１日現在

役　職	氏　名	担当業務内容
総括責任者 （所長）	梶村　徳全	・公園管理業務の総括及び各業務の総合調整 ・対外的対応の総括 ・安全管理の総括 ・森の円卓議会の開催、運営企画 ・評価・検証委員会に関すること
管理運営マネージャー	谷垣　友里	・統括責任者の代行、補佐 ・住民の参画と協働の実務 ・広報発行、イベント企画 ・苦情処理、利用調整、利用者対応等 ・森の円卓議会の開催、運営企画
維持管理マネージャー	川﨑　靖志	・維持管理計画の作成・実行 ・作業工程管理、安全管理 ・維持管理関係の各種調整 ・苦情処理・利用調整、利用者対応等

管理運営アドバイザー	門上　保雄	・統括責任者の代行、補佐 ・住民の参画と協働の企画 ・広報発行、イベント企画 ・森の円卓議会の開催、運営企画
広報・連携コーディネーター	時本　美重	・森の円卓議会の企画、運営 ・住民の参画と協働のサポート ・イベント企画、各種調整 ・広報紙の企画・編集、情報発信
事務・受付スタッフＡ	溝端　季子	・事務処理業務、会計業務 ・受付業務、苦情処理、利用調整、利用者対応等 ・イベント運営補助
事務・受付スタッフＢ	花川　恭子	・事務処理業務、会計業務 ・受付業務、苦情処理、利用調整、利用者対応等 ・イベント運営補助
事務・受付スタッフＣ	谷口　政代	・事務処理業務、会計業務 ・受付業務、苦情処理、利用調整、利用者対応等 ・イベント運営補助
里山・木工コーディネーター	門上　保雄	・森林活動センターの各種プログラムの企画、開催、運営 ・参画と協働のサポート、各種調整
維持管理・清掃スタッフＡ	足立　久典	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
維持管理・清掃スタッフＢ	杉野　良一	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
維持管理・清掃スタッフＣ	岡田　康裕	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
維持管理・清掃スタッフＤ	富田　浩之	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
維持管理・清掃スタッフＥ	近藤　俊幸	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
維持管理・清掃スタッフＦ	寺井　　智	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
維持管理・清掃スタッフＧ	高見　克彦	・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務

利用案内

丹波の森公苑

■開園時間　午前9時～午後10時

■休 園 日　月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月31日から1月1日まで
（ただし、アトリエの継続利用については
月曜日も利用可）

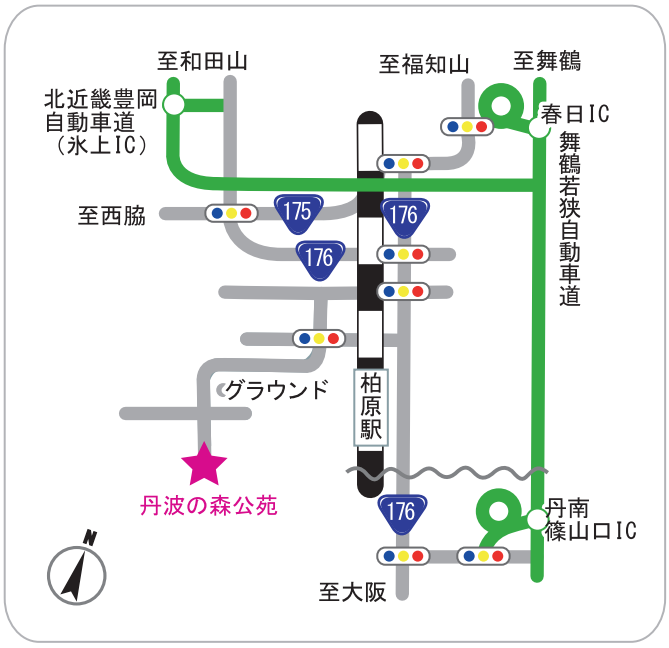
■アクセス　◇自動車利用
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、
国道176号を福知山方面へ25分

・舞鶴若狭自動車道「春日IC」から、
国道175号・176号を柏原方面へ20分

・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、
柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ15分

・中国自動車道「滝野社IC」から、
国道175号を福知山方面へ45分

◇JR利用
・JR福知山線「柏原駅」下車、徒歩15分



丹波年輪の里

■開園時間　午前9時～午後9時

■休 園 日　月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月29日から1月3日まで

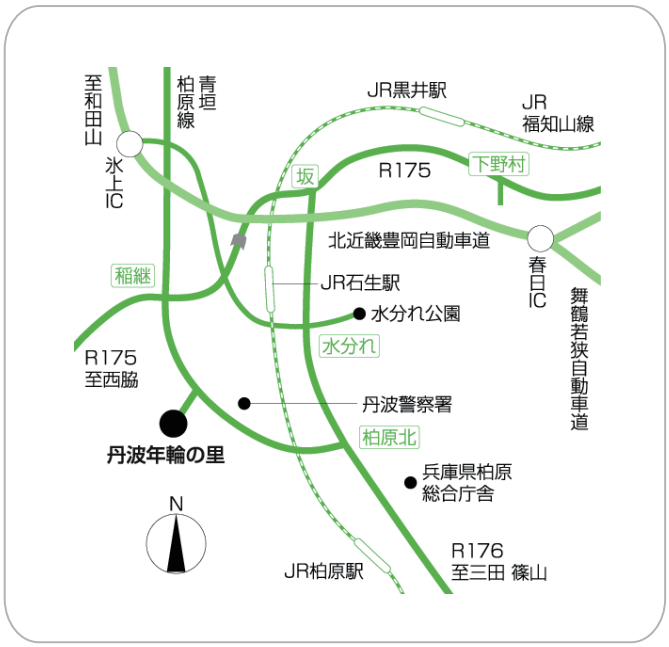
■アクセス　◇自動車利用
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、
国道176号を福知山方面へ30分

・舞鶴若狭自動車道「春日IC」から、
国道175号・176号を柏原方面へ15分

・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、
柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ5分

・中国自動車道「滝野社IC」から、
国道175号を福知山方面へ40分

◇JR利用
・JR福知山線「柏原駅」下車、車で約5分



ささやまの森公園

■開園時間　午前9時～午後5時

■休 園 日　月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月29日から1月3日まで

■入園料・駐車料　無料

■アクセス

◇自動車利用
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、
国道372号を亀岡方面へ30分

・京都縦貫自動車道「亀岡IC」から、
国道372号を篠山方面へ40分

丹波並木道中央公園

■開園時間　駐車場利用時間　午前8時～午後5時30分

■休 園 日　12月29日から1月3日まで

■入園料・駐車料　無料

■アクセス

◇自動車利用
・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口ＩＣ」から、
国道175号を福知山方面へ10分

・北近畿豊岡自動車道「氷上ＩＣ」から、
柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ30分

・中国自動車道「神戸三田ＩＣ」から、
国道176号を福知山方面へ30分

◇JR利用
・ＪＲ福知山線「丹波大山駅」下車、徒歩10分